

# 平塚市景観ガイドライン



平成21年3月 平塚市





## 目 次

序章 平塚市景観ガイドラインとは	1
1. 平塚市景観ガイドラインとは	2
2. 策定の経緯	2
3. 構成	2
4. 景観重点区域のガイドライン	3
5. 景観法及び景観条例に基づく届出対象行為と手続きの流れ	5
第1章 共通ガイドライン	7
1. 平塚らしい色づかい【色彩指針】	8
2. 地域の景観特性への配慮【景観類型別基準と配慮事項】	13
3. 緑豊かなまちなみづくり【緑化に関する指針】	17
第2章 建物等用途別のガイドライン	21
A. 住居系用途のガイドライン	22
B. 工業系用途のガイドライン	26
C. 商業系用途のガイドライン	30
D. 工作物のガイドライン	35
E. 屋外広告物のガイドライン	37
F. 公共的空間のガイドライン	39
第3章 景観重点区域のガイドライン	41
G. 海へのシンボル軸のガイドライン	42
H. 都市のシンボル軸のガイドライン	44
I. 歴史軸のガイドライン	46



平塚市景観ガイドラインとは

---

## 序章 平塚市景観ガイドラインとは

### 1. 平塚市景観ガイドラインとは

平塚市景観ガイドライン（以下「景観ガイドライン」といいます。）は、平塚らしい景観づくりを総合的かつ計画的に進めていくための目標や方針、推進方策などを明らかにし、市民・事業者・行政が、協働により良好な景観づくりを実現することを目的とした「平塚市景観計画」を推進するための指針です。建築物の建築や工作物の建設などの行為の際の景観形成における配慮事項をまとめています。

### 2. 策定の経緯

本市では、平成3年度に「平塚市都市景観基本計画」と「平塚市都市景観形成ガイドライン」を、平成5年度に「湘南ひらつか都市景観づくり要綱」を策定し、良好な景観形成を誘導してきました。さらに平成16年度に「景観法」が施行され、地方自治体が景観行政をより一層推進することが可能となり、本市においてもより一層、景観行政を推進するため、これまでの基本計画と要綱を見直し、法に基づく諸制度を活用した「平塚市景観計画」と「平塚市景観条例」を策定しました。これに伴い、「平塚市都市景観形成ガイドライン」を見直し、「平塚市景観計画」で定める景観形成基準に対応した「平塚市景観ガイドライン」を策定しました。

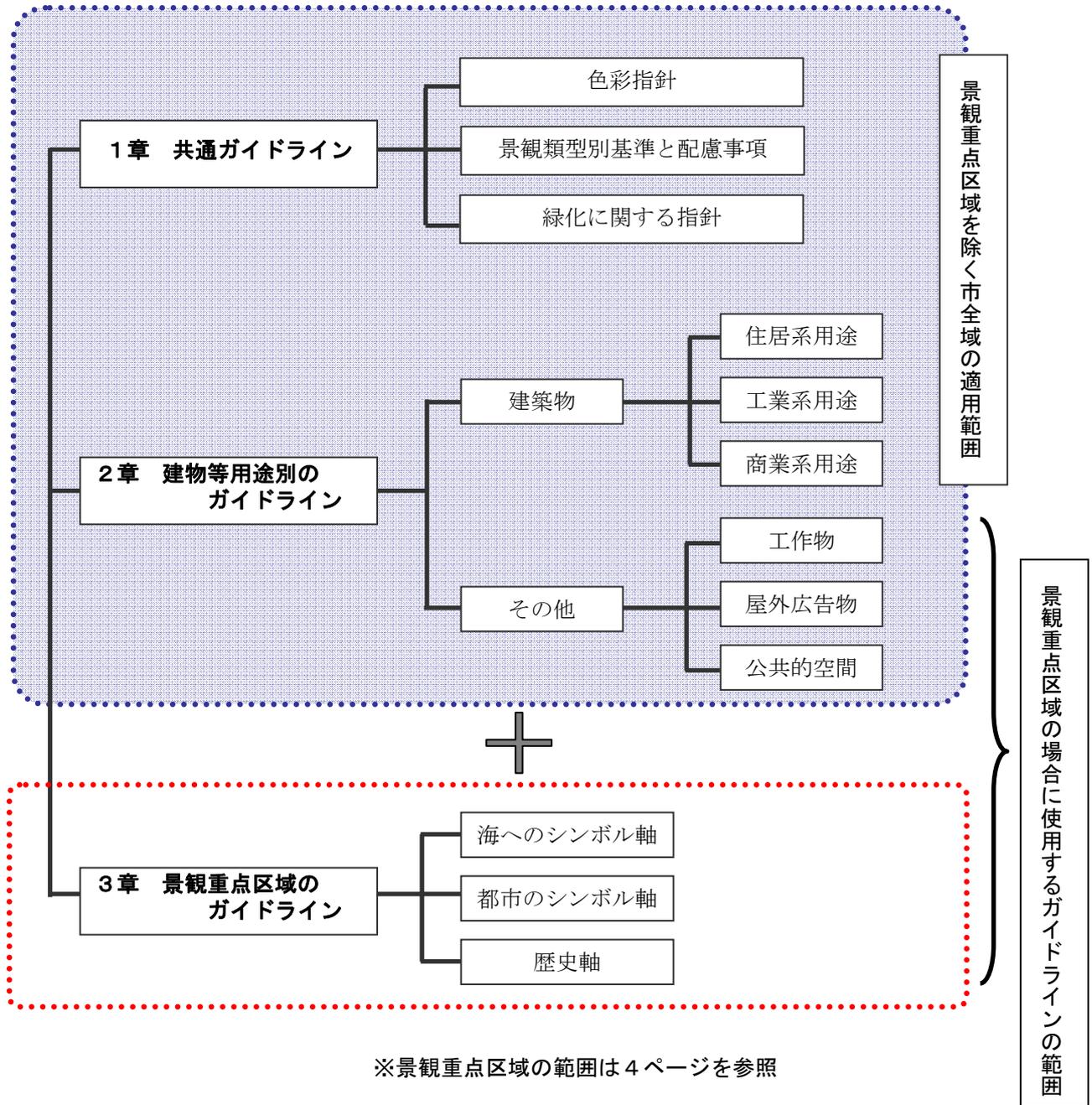
### 3. 構成

第1章**共通ガイドライン**は、市全域において行うすべての建築行為などに共通する「**色彩指針**」「**景観類型別基準と配慮事項**」「**緑化に関する指針**」の3項目で構成しています。

第2章**建物等用途別のガイドライン**は、「**住居系用途**」「**工業系用途**」「**商業系用途**」と、これらに併設される「**工作物**」「**屋外広告物**」「**公共的空間**」の6項目に分類して、建物等用途別に配慮する事項を記載しています。

また、第3章**景観重点区域のガイドライン**は、「平塚市景観計画」に定めた市内3区域の**景観重点区域**について、それぞれの区域ごとに配慮する事項を記載しています。

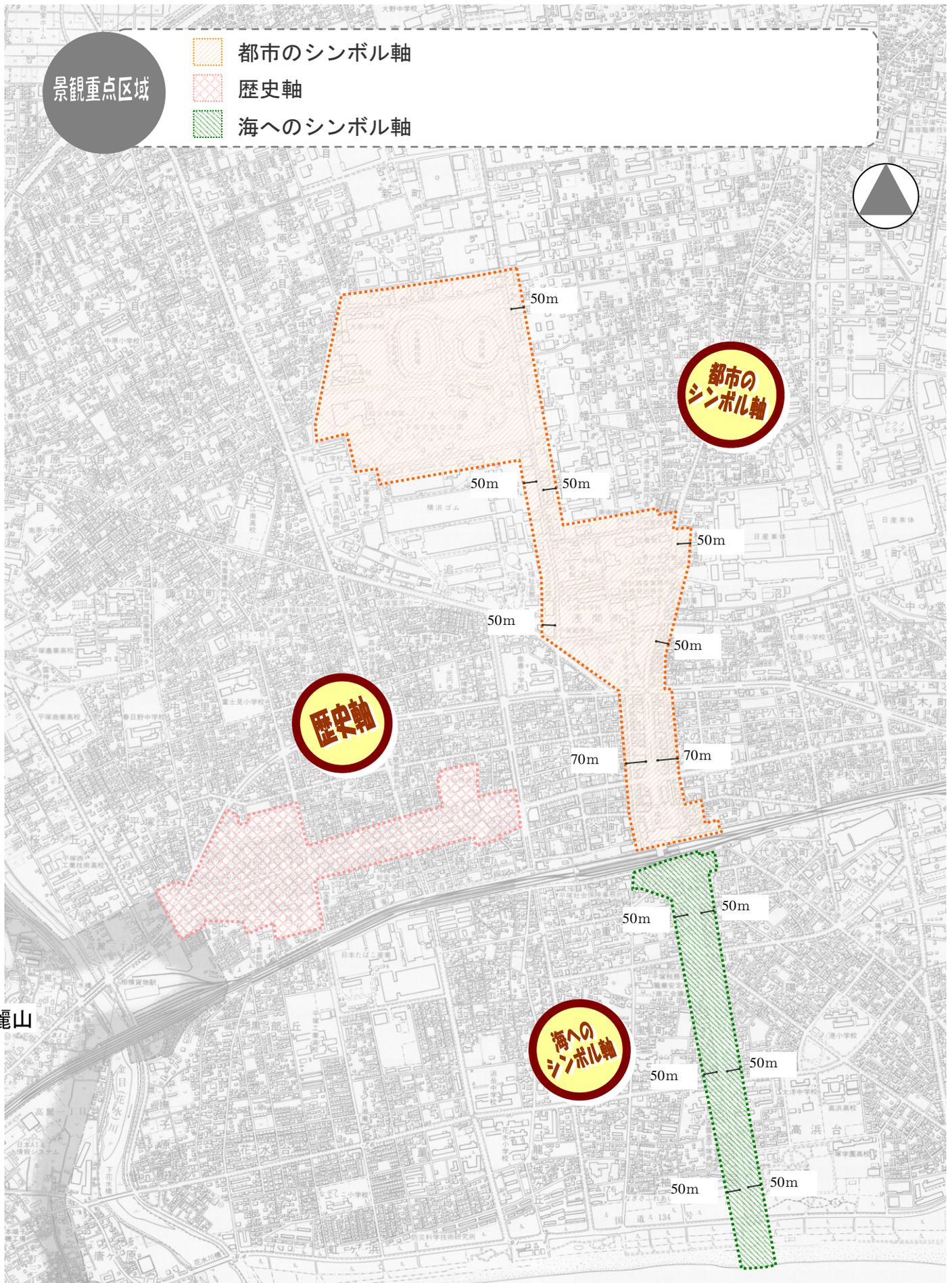
◆景観ガイドライン構成図◆



#### 4. 景観重点区域のガイドライン

景観重点区域とは、先導的な景観づくりを進める区域として、「平塚市景観計画」に定めた地域です。「湘南ひらつか都市景観づくり要綱」において指定した「まちなみ景観形成モデル地区」の「海へのシンボル軸」「都市のシンボル軸」「歴史軸」の3つの区域を継承しています。「景観重点区域のガイドライン」は、この3つの区域ごとに、それぞれの区域独自の特色に配慮する事項を記載しており、共通ガイドライン・建物等用途別ガイドラインと併せて使用します。

なお、景観重点区域の範囲は4ページのとおりです。



景観重点区域

- 都市のシンボル軸
- 歴史軸
- 海へのシンボル軸

都市のシンボル軸

歴史軸

海へのシンボル軸

高麗山

平塚海岸





## 第 1 章 共通ガイドライン

# 1. 平塚らしい色づかい【色彩指針】

## 1. なぜ色彩の基準が必要か

景観を構成する要素はたくさんありますが、色彩は、中でも特に景観と密接に関連する要素です。

自然の風景の中には、様々な色が存在していますが、全体に調和した爽やかな色使いとなっているため、心地よく決してあきることはありません。しかし、その中に周囲と突出した色、そぐわない色が存在すると、風景全体に落ち着きがなくなり、その景観は雑然とした印象を与えます。

本市では、人々が快適に暮らせる平塚らしい良好な景観づくりを進めていくために、建物等の色彩が、周囲の環境と調和していることが大切であると考え、市全域共通の色彩基準を設定しました。

## 2. 色彩選択の視点

建物の色彩を選択するためには、建物にふさわしい色の範囲を考え、さらに周辺環境に調和するように配慮することが大切です。

- 建物にふさわしい色彩を選ぶ
- まちなみや風景との調和を考える
- 色彩調和の手法を取り入れる

### (1) 建物にふさわしい色を選びましょう

#### ① 色 味

ホワイト、クリームからベージュ、ブラウン、ライトグレーなどの古くから使われている土や石などの素材色は、慣れ親しんだ色であり、建物にふさわしい色です。

**ポイント①** 赤、青、黄色といった原色は、日本の建物にはあまり使われません。自然の素材色からかけ離れた色を使う場合は、十分な検討が必要です。

#### ② 明るさ

建物には、様々な明るさの色が使われていますが、暗すぎる色は威圧感や陰鬱感を与えるので、注意が必要です。落ち着きのある明るさは、基本的に肌の色の明るさを基準と考えてください。

**ポイント②** 建物の壁は面積が広いので、小さい色見本よりも、面積効果によって明るく見えるので注意しましょう。

#### ③ 鮮やかさ

鮮やか過ぎる色は、周囲の景観とコントラストがつき、その存在感が強調され、緊張感を生じます。特に落ち着きを求められる住宅地などでは、まちなみのリズムを乱してしまいがちになるので、鮮やかさを抑えてください。

**ポイント③** 鮮やかさの目安は、自然の緑（葉の色）を引き立てるように、緑より鮮やかさを抑えた色を使用しましょう。

#### ④ いつまでも美しい色

美しさを長く保つため、汚れが目立ちにくい色を選びましょう。真っ白は汚れが目立ちやすいので、こまめなメンテナンスが必要ですし、黒も汚れが白く浮いて目立つこととなります。

**ポイント④** 茶色や退色しにくい色を選ぶことが大切です。特に鮮やかな色は退色しやすい場合があるので注意しましょう。

### (2) 周辺環境に配慮しましょう

#### ① 隣近所の色に配慮

まず、自分の好きな色を塗った建物がまちなみとして美しく見えるかを想像してください。周辺の建物の色を見渡してみて、自分の建物だけが目立つのではなく、まちなみが美しく整って見える色を選びましょう



#### ② 立地場所に配慮

住宅地や商業地など、まちの性格にあった色を選びましょう。住宅地であれば、落ち着いた色を、にぎわいが必要な商業地であれば、アクセントカラーを活用しましょう



#### ③ 地域の色に配慮

歴史のある建造物の周辺や昔からの建物がたくさん残されている地域の中に、一つだけ目立つ色の建物があると、まちなみの美しさを壊すことがあります。その地域に伝わる色がある場合は、その色を大切にしましょう。



#### ④ 自然の緑に配慮

周辺の社寺の杜、公園・街路樹の緑をはじめ、最近、戸建住宅だけでなく集合住宅でも丹精に手入れをされた緑の多いガーデニングの庭が整備されています。建物の周囲に豊かな緑がある場合、それらの自然の緑と調和する建物の色を選びましょう。自然の色よりくすんだ色を選ぶのがコツです。



### (3) 色彩調和の手法を取り入れましょう

建物は、外壁や屋根の色を同系色でそろえると違和感のない配色になります。まちなみを構成する建物の基調色は、類似色や同じ色相でそろえると、周囲のまちなみや環境と効果的に調和させることができます。

また、色の三属性のうち明度と彩度の組み合わせ（色調・トーン）が似ている色彩でそろえると、色相が違っていても、強弱や軽重、濃淡などの印象がほぼ共通したものとなります。

以下は色彩調和の手法を示したものです。

#### ① 類似色調和

類似色調和とは、ほぼ同じ色で配色をすることです。類似色同士は、ほとんど同じ性格を持っているため、なじみの効果を持ち、色彩同士は調和します。



#### ② 同系色調和（色相をそろえ、濃淡を出す）

同系色調和とは、色相をそろえ、濃淡を出す配色方法です。同じ色味にまとめ、明るさなどで変化をつけると、落ち着いた印象となります。



#### ③ 色調調和（異系色で色調のみをそろえる）

色調調和とは、異系色で色調のみをそろえることを言います。色相が様々でも同じ色調の効果が全体のイメージをつくり、まとまった印象となります。



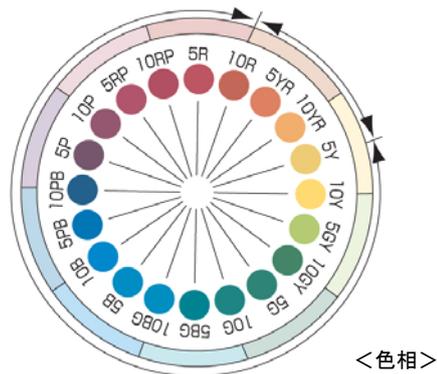
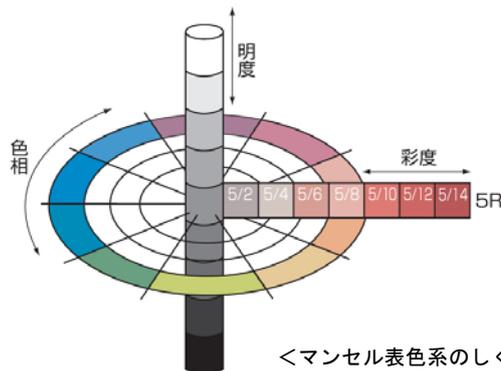
### 3. マンセル表色系

マンセル表色系は、色彩を表すための尺度のひとつで、JIS（日本工業規）に採用されている国際的なものです。ひとつの色彩を「色相（色あい）」「明度（明るさの度合い）」「彩度（あざやかさの度合い）」という3つの尺度の組み合わせで表現します。

**色相** 10種の基本色の頭文字をとったアルファベット【例：R（赤）】とその度合いを示す数字を組み合わせ、10Rや5Yなどのように表します。

**明度** 明るさの度合いを0～10程度までの数値で表したもので、暗い色ほど数値が小さくなります。

**彩度** あざやかさの度合いを0～16程度までの数値で表したもので、数値が大きいほどあざやかな色を表します。例えば、白、黒、グレーなどの色の彩度は0、赤の原色の彩度は14程度です。



#### マンセル記号の表し方

マンセル記号は、色相・明度・彩度の順に三属性を数値化した情報を並べたものです。

10B 7 / 6  
色相 明度 彩度

(マンセル表色系による)

#### 4. 本市の色彩基準

平塚市景観計画に定めた景観形成基準のうち、色彩に関する基準は次のとおりです。

この基準は、市内全域で実施した建物色彩調査の結果に基づき、周辺の環境から著しく突出する色彩を確認して設定したものです。

- 外壁や屋根などの色彩は、原則として、原色や突出色の使用をしないでください。
- 建築物の外観及び工作物の表面の色彩は、「マンセル表色系」による分類で下表の通りとしてください。

YR から 5Y までの色相 (5Y を含む)	彩度 6 以下
R、5Y から 10Y (5Y を含まない)、GY、G、BG、B、PB、P、RP の色相	彩度 2 以下

注1) 見付面積の 5 分の 1 以下のアクセント色はこの限りではありません。

注2) 木材、土壁、漆喰、ガラスなど表面に着色を施していない素材色についてはこの限りではありません。

注3) 特別な事情によるものについては、別途協議することができます。

- 広告物や看板の色彩は、原色や突出色を避け彩度の低い落ち着いたものとするよう努めてください。

#### 平塚市における色彩共通基準例

※各色相の点線枠内が基準となっています  
※印刷のため、実際の色彩とは若干異なります

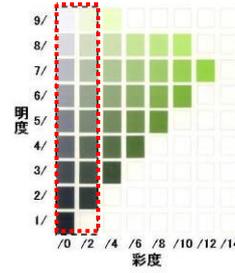
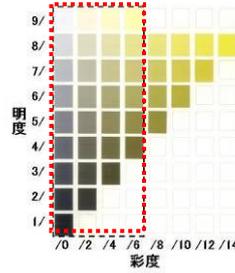
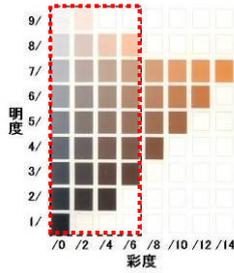
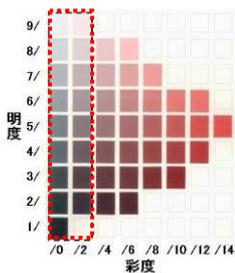
R (赤) 系 : 5R

YR (黄赤) 系 : 5YR

Y (黄) 系 : 5Y

GY (黄緑) 系 : 5GY

G (緑) 系 : 5G



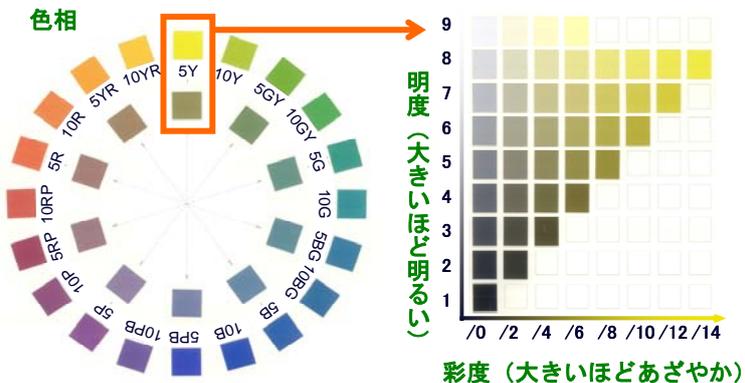
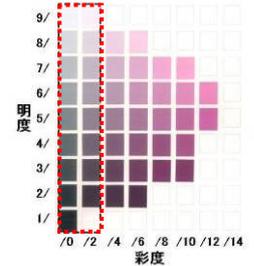
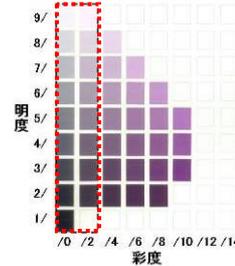
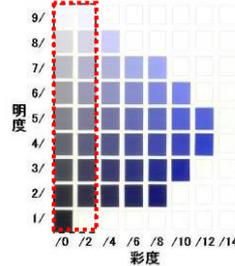
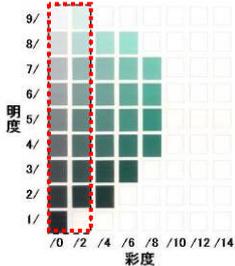
BG (青緑) 系 : 5BG

B (青) 系 : 5B

PB (青紫) 系 : 5PB

P (紫) 系 : 5P

RP (赤紫) 系 : 5RP



## 5. 建物等用途別の色彩指針

建物の色彩は、その種類や用途によって求めるものが異なります。建物の色彩を選ぶ際は、周辺と調和した用途にふさわしい色使いを考えることが大切です。

### 住居系用途

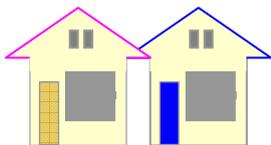
住居系施設は、住み心地の良い暖かさと落ち着きが求められます。

このため、暖色系で彩度の低い色を使用すると、暖かみのある落ち着いた印象をつくりだすことができます。

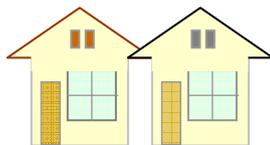
逆に、低彩度で明度も低い色彩は、視覚的に重く、硬い印象を与えるため、特に中高層住宅等に使用すると、その地域に閉鎖的なイメージをもたらすこともありますので注意しましょう。

外壁の色彩を塗り分ける場合は、建物の形状や周辺との調和に配慮しながら、面積の大きな順に、ベースカラーに低彩度で明るい色を選ぶと他の色との調和が取りやすく、アソートカラーに低彩度でやや明るい色を選ぶと、ベースの色との差のつけ方で変化が楽しめます。アクセントカラーは、上手に使って個性を出しましょう。

ただし、色を使いすぎると、まとまりの欠ける印象になりますので、集合住宅は3色程度、戸建住宅は2色程度を使用し、色のバランスを考えて複雑にならないように注意しましょう。



アクセントカラーの彩度や面積に注意しないと、住居系施設にはなじまないことがあります。



暖色系を中心とした低彩度色の配色で暖かみと落ち着きがあります。

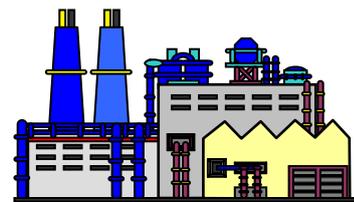
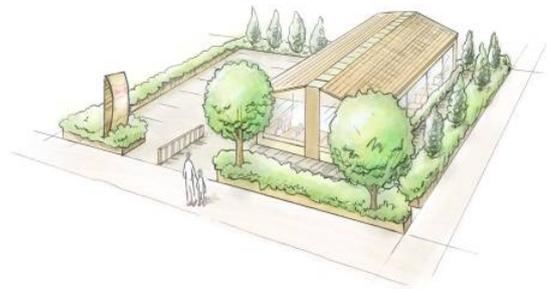
### 工業系用途

工業系施設は、企業のメッセージを伝えるとともに、市民が親しみやすいことが求められます。

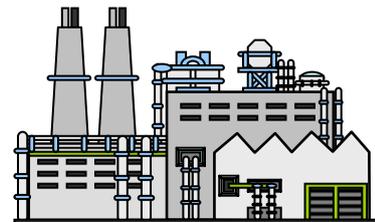
このため、企業のイメージカラーを建物全体で表現するのではなく、生産品の性格を考慮した高明度・低彩度の色を基調に用いて敷地内の統一感を図り、イメージカラーをアクセントとして使用して、メッセージ性のある親しみやすい色彩を考えてください。

特に大規模な建物等では、圧迫感を軽減するような色彩デザインを取り入れましょう。

本市では、市の重要な景観資源である相模川沿いや住宅地に近接した工場の立地も多く見られます。これらの地域では、雄大な相模川沿いの景観や、落ち着きのある住宅地景観に調和させることが大切です。



煙突や配管などに突出色が使用され、落ち着きの無い配色になっています。



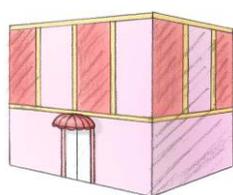
グレー系で統一し、グリーン系のアクセントカラーで洗練された印象を与えています。

## 商業系用途

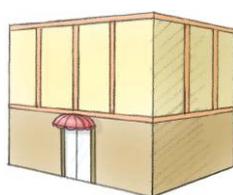
商業系施設は、にぎわいと活気の創出が求められています。しかし、商店等を目立たせるために、ベースカラーに高彩度の色彩を使用したり多様な色使いをすると、建物全体が派手になり、まちなみとの一体感が失われてしまいます。

このため、商業系施設の色彩は、周辺のまちなみとのバランスを考慮して、全体的に落ち着いた色彩をベースカラーとして用い、低層部ににぎわいや華やかさを演出する色をアクセントに用いるなど、洗練した色使いを工夫しましょう。アクセントカラーは、うまく使用することにより、リズム感や楽しさを生み出し、全体の印象をまとめて見せることが可能です。

また、広告物は、文字等の表示色に高彩度の色彩を使用し、ベースカラーは、アースカラー等の落ち着いたものとすることによって、周囲に調和した中で人目をひくことができます。



ベースカラーなどにコーポレートカラーを使用すると全体として派手な印象を与えます。



ベースカラーなどにアースカラーを使用し、落ち着きをもたせつつも、入口付近にアクセント色を使用し、人目を引いています。

ベースカラーとは・・・

全体のイメージとなる土台の色のことをいいます。基調色とも呼ばれ、配色の中で最も広い部分を占める色となります。

アソートカラーとは・・・

ベースカラー（基調色）の次に広い部分を占める色のことをいいます。アソートカラーは、従属色、配合色とも呼ばれます。

アクセントカラーとは・・・

全体の色彩が単調である場合などに対照的な色を使用し、全体を整えるのに使う色のことです。

コーポレートカラーとは・・・

企業等が対外的にイメージやコンセプトを提示することを目的に、象徴的に使用する色のことです。

アースカラーとは・・・

大地の色や空の色、草木の色などといった、自然界に由来するナチュラルカラーの事です。

## 2. 地域の景観特性への配慮【景観類型別基準と配慮事項】

### 1. 景観類型・景観要素

平塚市景観計画では、多様な景観特性をいかした景観づくりを進めていくため、市全域の視点から、本市の景観特性を5つの系に分類し、その下に17の景観類型を整理しています。

さらに、この景観類型を特徴づけている個別の要素を景観要素として捉え、景観類型のもとに整理しています。建築行為等の計画に際しては、その地域の景観類型、景観要素を十分に把握し、地域と調和した計画となるよう配慮してください。

#### 市の景観特性

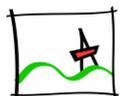
<5つの景観特性>

##### 【自然系】



海、山、川など恵まれた  
自然景観の保全と創出

##### 【眺望系】



市内外への多様な  
眺望の保全と活用

##### 【歴史系】



多様な歴史景観の  
保全と活用

##### 【都市系】



うるおいある  
美しいまちなみの形成

##### 【生活系】



暮らしを彩る  
快適な生活環境の形成

<17の景観類型>

<70の景観要素>

丘陵地景観	斜面林・里山
田園景観	農地
河川景観	相模川・金目川・市街地の中小河川・田園の中の中小河川・小川と水路
海岸景観	平塚海岸・漁港・ビーチパーク
緑の景観	屋敷林・松林・並木道
山々への眺望景観	高麗山と湘南平への眺望 富士山への眺望・大山・丹沢への眺望
湘南平からの眺望景観	湘南平からのパノラマ
平塚市を代表する歴史景観	東海道と平塚宿・大門通りと平塚八幡宮・金目観音とその周辺のまちなみ・御林と中原御殿
身近な歴史景観	地域の社寺や長屋門などの歴史資源・近代遺産
住宅地景観	旧別荘地・旧市街地（戦災復興）・新興市街地・集合住宅地・一般的な住宅地
工業地景観	相模川沿いの工業地・幹線沿いの工業地・市街地に点在する工業地
商業地景観	平塚駅周辺中心商業地・ショッピングモール・北口駅前広場・南口駅前広場・中心商業地の中の公園・幹線沿いの店舗群・地域商店街
公共施設景観	市役所周辺公共施設群・総合公園・大規模な公共施設・小中高校、大学などの文教施設・公民館などの地域公共施設・公園・ポケットパーク
道路景観	国道や幹線道路・駅前大通り（フェスタロード）・なぎさプロムナード・シンボル道路・コミュニティ道路・生活道路・橋・相模川の橋上
鉄道景観	東海道本線・東海道新幹線・車窓
暮らしの景観	日々の暮らしの景観、七夕まつり景観、地域の祭りやイベント、夜の景観、自転車、美化活動
ゆとりの景観	広告物、ひらつかの色、ひらつかの音、ひらつかの香り、ひらつかの花、パブリックアート、公共デザイン、平塚八景

## 2. 景観類型別基準と配慮事項

平塚市景観計画では、市全域で共通して守るべき基準の一つとして、景観類型別基準を定めました。この基準に基づき、地域の環境との調和に配慮してください。

### 景観類型別基準

#### 丘陵地・田園景観

- ・緑の連続性を確保するため敷地の緑化を図るとともに、周辺の山並みとの調和に配慮し、稜線をさえぎることのないよう配慮した高さやデザインに努めてください。

##### ○丘陵地に立地する場合

- ・斜面緑地の緑の連続性の確保を図るため、積極的に良好な樹林地を保全し、敷地内の緑化に努めましょう。
- ・稜線をさえぎることのないよう建物等のデザインに配慮し、尾根筋への立地はできる限り避けるように努めましょう。
- ・周辺の良好な自然環境に調和するような屋根形状（傾斜屋根等）としましょう。

##### ○背景に丘陵地がある住宅の場合

- ・丘陵地地への眺望を妨げないようなデザインや施設の配置に配慮しましょう。

##### ○田園に立地する場合

- ・田園の視覚的な広がりをかした建物デザインに配慮しましょう。
- ・長大な壁面が続く場合は、分節化したデザインとしましょう。また、色彩は、原色や突出色を面的に用いることを避けましょう。
- ・周辺の良好な自然環境に調和するような屋根形状（傾斜屋根等）としましょう。
- ・丘陵地の緑と一体となった田園景観の保存を図るため、敷地内の植栽を行いましょ。

#### 河川景観

- ・河川の緑の景観と連担した、周辺景観との調和に配慮した高さやデザインに努めてください。

##### ○相模川沿いに立地する場合

- ・うらおいとやすらぎある川べり景観を形成する回廊の創出を図るため、敷地が河川に隣接する部分については、敷地の境界に沿って、その内側に植栽を行いましょ。
- ・河川敷と一体となった広場の整備等の修景を行い、緑の連続性と歩行者動線のネットワークを形成しましょ。

#### 海岸景観

- ・松林や海岸風致の景観と連担した、海岸沿いの緑地を保全するとともに、周辺景観との調和に配慮した高さやデザインに努めてください。

##### ○海岸付近では・・・

- ・海岸沿いの緑地を今後とも保全（飛砂防備保安林）していくとともに、防護柵やネット等の素材や色彩を含めて修景に配慮しましょ。

#### 住宅地景観

- ・生垣化に努め、街路樹や地域の緑と調和した樹種などの植栽による緑化に努めてください。

##### ○旧別荘地に立地する場合

- ・樹種は海岸付近の松林に合わせて、クロマツ等の常緑樹を用い、シンボルツリーになるよう配置しましょ。
- ・旧別荘地の雰囲気を残すよう、敷地が豊かな樹木に囲まれた状態となるような敷地規模を確保しましょ。
- ・現存する良好な松林の中に屋根（傾斜屋根等）が見え隠れするようなイメージを形成するよう、彩度の低い落ちついた色彩とし、反射材の使用は避け、自然素材（木材・石材等）を活用しましょ。

#### 工業地景観

- ・沿道の緑化に配慮し、街路樹や地域の緑と調和した樹種などの植栽による緑化に努めてください。

#### 商業地景観

- ・まちかど広場の創出に努め、シンボルツリーなどの植栽による緑化に努めてください。
- ・地域の個性をかしたにぎわいと統一感のあるデザインに努めてください。

##### ○中心商業地に立地する場合

- ・都心の顔としてのシンボル性の創出と、連続性と一体性のあるみちすじ景観の形成を図るため、周辺景観の向上に寄与するデザインとしましょ。

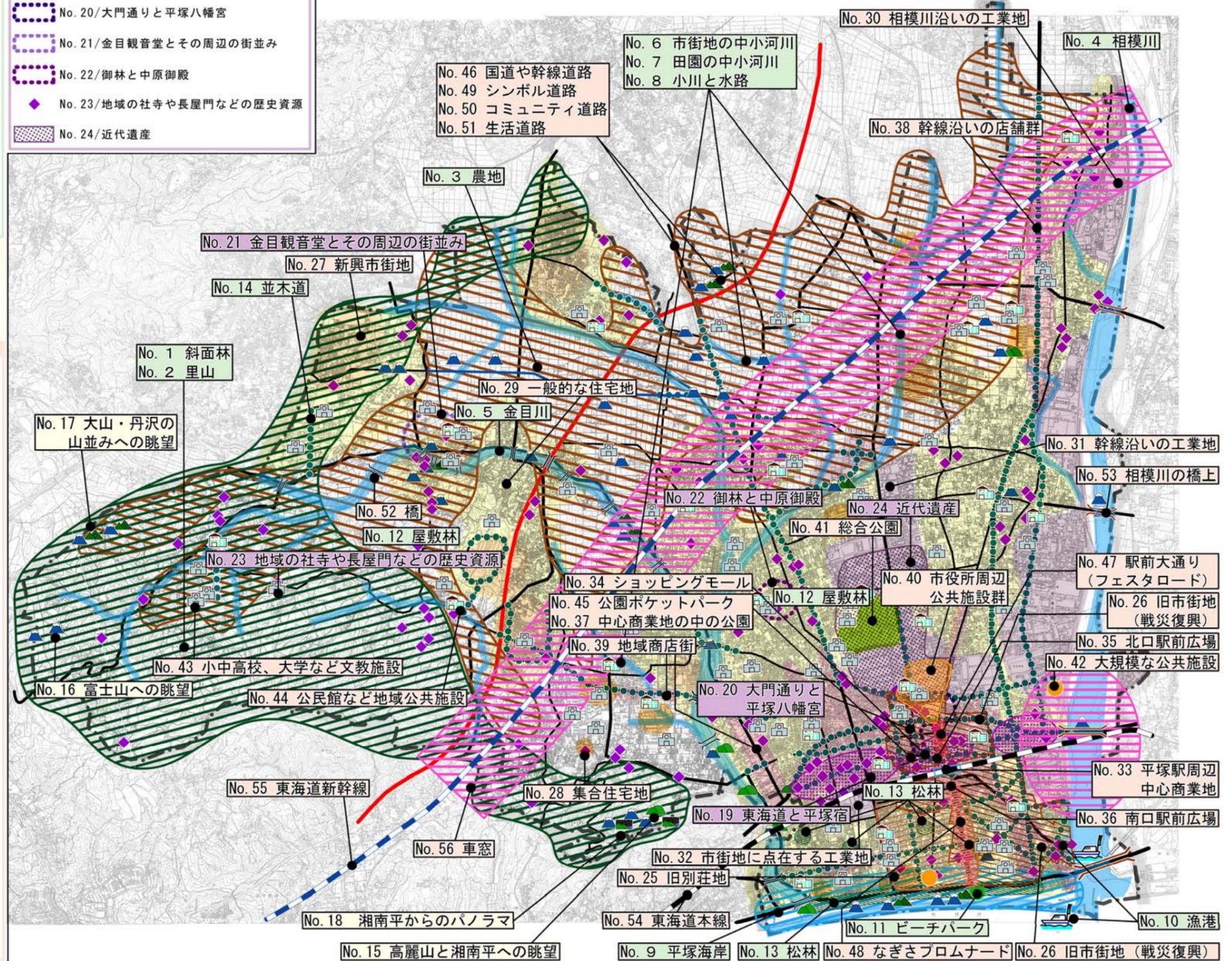
#### 公共施設景観

- ・開放感と統一感のある施設配置に努め、街路樹や地域の緑と調和した樹種などの植栽による緑化に努めてください。
- ・地域の顔として周辺景観を先導するデザインに努めてください。

平塚市景観要素地図

凡例

- 自然系
  - No. 1、2/斜面林、里山
  - No. 3/農地
  - No. 4～8/相模川、金目川、市街地の中小河川、田園の中小河川、小川と水路
  - No. 9/平塚海岸
  - No. 10/漁港
  - No. 11/ビーチパーク
  - No. 12/屋敷林
  - No. 13/松林
  - No. 14/並木道
- 眺望系
  - No. 15/高麗山と湘南平への眺望
  - No. 16/富士山への眺望
  - No. 17/大山・丹沢の山並みへの眺望
  - No. 18/湘南平からの夜景（パノラマ）
- 都市系
  - No. 25/旧別荘地
  - No. 26/旧市街地（戦災復興）
  - No. 27/新興市街地
  - No. 28/集合住宅地
  - No. 29/一般的な住宅地
  - No. 30～32/相模川沿いの工業地、幹線沿いの工業地、市街地に点在する工業地
  - No. 33～39、45/公園・ポケットパーク  
平塚駅周辺中心商業地、ショッピングモール、北口駅前広場、南口駅前広場、中心商業地の中の公園、幹線沿いの店舗群、地域商店街
  - No. 40/市役所周辺公共施設群
  - No. 41/総合公園
  - No. 42/大規模な公共施設
  - No. 43/小中高校、大学など文教施設
  - No. 44/公民館などの地域公共施設
  - No. 46、49～51/国道や幹線道路、シンボル道路、コミュニティ道路、生活道路
  - No. 47/駅前大通り（フェスタロード）
  - No. 48/なぎさプロムナード
  - No. 52/橋
  - No. 53/相模川の橋上
  - No. 54/東海道本線
  - No. 55/東海道新幹線
  - No. 56/車窓
- 歴史系
  - No. 19/東海道と平塚宿
  - No. 20/大門通りと平塚八幡宮
  - No. 21/金目観音堂とその周辺の街並み
  - No. 22/御林と中原御殿
  - No. 23/地域の社寺や長屋門などの歴史資源
  - No. 24/近代遺産





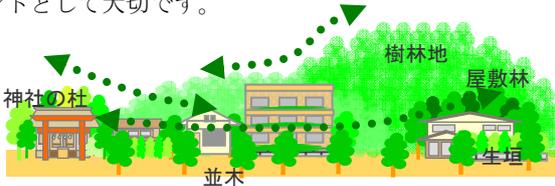
### 3. 緑豊かなまちなみづくり【緑化に関する指針】

#### 1. 緑の景観的な効果

緑は、まちなみにうるおいややすらぎを与える大きな効果があります。さらに、緑が連なると、まちなみに一体感が生まれます。

このため、建築行為等を行う際は、既存の樹木の保存に努めるとともに、斜面緑地や神社の杜、街路樹など、周辺の緑を上手に活用しながら敷地内の緑化を積極的に行い、緑が連なる一体感のあるまちなみを創出しましょう。

また、庭先の花や花木によって人の目を楽しませる「魅せる緑」の演出も、ゆとりあるまちなみのアクセントとして大切です。



#### 2. 緑化の視点

緑豊かなまちなみを形成するため、緑地や樹木の保全に努めるとともに、新たな緑を創出し、つないでいきましょう。

##### (1) 既存の樹木は保存し、活用しましょう。

土地の造成や新築の際は、既存の樹木を残したり、移植するなどして保存していきましょう。市の保存樹等の指定制度を始め、地区計画や景観協定などを活用することもできます。

##### (2) 積極的に緑を増やしましょう。

いろいろな緑化の手法を用いて、敷地内の緑を積極的に増やし、うるおいとやすらぎを創出しましょう。

##### (3) 周辺の緑との連続性に配慮しましょう。

公園の樹木や神社の杜、街路樹など、緑のまとまりや連なりが途切れないように、周辺の緑を活用した敷地内の緑化に努めましょう。

##### (4) 樹種は周辺の樹林地や街路樹などと調和のとれたものを用いるようにしましょう。

海岸地域のクロマツや平塚八幡宮付近のヤエザクラなど、地域特有の緑がある場合は、これと調和するような植栽を行い、地域の個性をいかしましょう。

##### (5) 花や緑による効果的な演出を心がけましょう。

玄関先のシンボルツリーや、窓辺の花など、まちなみにアクセントを加え、人の目を楽しませる魅せる緑化を行いましょう。

#### 3. 緑化の手法

地域にうるおいややすらぎを与える緑化の手法としては以下のようなものがあげられます。

##### (1) 生垣等による境界部分の緑化

建築物等のイメージは、敷地の外周の植栽によって大きく変わります。生垣等による境界部の緑化は、ブロック塀と比較するとやわらかい印象を与えるとともに、歩行者にうるおいを与えます。また、樹種によって塀と同様に沿道からの目隠し効果や防犯効果、防音・防風効果もあります。

和風の生垣は、高木の生垣を植栽することもあります。人の視線より高く列植すると、通りが閉鎖的になり、生垣の持つやわらかさが半減してしまうこともあるので、この場合は、密集しない樹種を選んだり、高さを抑えたりする方法も考えられます。

防犯上から生垣に抵抗がある場合は、塀を後退させ、その前面に植栽を行う方法もあります。



右写真：石垣と生垣を組み合わせている事例

##### (2) 樹木による敷地内の緑化

敷地内の植栽は、建物の一部であり、建物等と緑をセットとして計画することが望まれます。樹種や配置によって、どれだけ建築物と一体感のある緑の景観を創出できるか工夫しましょう。

特に沿道から見える高木の豊かな緑で建築物が包まれている様子は、建物等の印象をやわらかくし、良好な景観を創出しますので、樹種は、慎重に選ぶことが大切です。



右写真：道路境界部に沿って高木を植栽している中高層住宅の事例

右写真：外塀をセットバックし、高木を前面に配して、涼しげな雰囲気を出している事例



#### ◆高木（シンボルツリー）◆

○庭木にふさわしい高木（シンボルツリー）は、次の樹種が考えられます。

イヌマキ	エゴノキ	クロガネモチ
クロマツ	コブシ	サルスベリ
シマトネリコ	シモクレン	タイサンボク
ナツツバキ	ハクモクレン	ハナミズキ
ヒメシャラ	ブルーアイス	ブルーヘブン
ヤマボウシなど		

○比較的暗い場所でも成長が可能な樹種

ソヨゴ	ヒイラギ
-----	------

#### (3) 花壇等の草花による緑化

花壇は、敷地の内側のものをイメージしがちですが、沿道から見える位置に花壇を配置することで良好な景観の担い手となることができます。最近では敷地の界部分に花壇を作ったり、壁沿いの空きスペースに草花を植えたりしてガーデニングを楽しむ方が増えてきています。また、生垣の場合でも、足元に草花を植え込んでみるだけで、外周のイメージが良くなります。

右写真：外壁の足元空きスペースを花壇のように使用している事例



#### (4) プランターやコンテナの活用による緑化

敷地内の緑化は、花壇や植栽スペースが無くても、プランターやコンテナを活用することで対応できます。大小のものをいくつか寄せて、全体でひとつの庭のように見せれば、ボリューム感が出て見ばえがよくなります。また、出入り口付近に、コンテナに木を植えたものを配置すれば、家の前の素敵なアクセントとすることもできます。

集合住宅の方はウィンドウボックス等を活用し、沿道の方々の目を楽しませましょう。

右写真：プランターを寄せてボリュームを出している事例



#### (5) 壁面緑化

壁面の緑化は、トレリスやワイヤーマッシュ等を用いることで、比較的容易に行うことができます。これらの使用方法としては、寄せ植えしたハンギングバスケットをかけたリ、つる性の植物を誘引したりすることが考えられます。垂直方向に大きく広がるつる性の植物等は、植つけに要する場所が少なくすみ、敷地が狭く庭スペースがとりづらい場所にも適しています。

右写真：ワイヤーマッシュを利用して壁面緑化を行っている事例



右写真：ネットフェンスもつる性の植物で緑化すれば良好な景観をつくれます。



### ◆壁面緑化◆

パーゴラやトレリス、ワイヤーメッシュなどを用いると、つる性の植物などを用いて、壁面等に比較的自由的な造形で緑化を施すことが可能となります。

パーゴラとはテラスの上部に組む棚のことをいいます。植物をはわせることによって日陰をつくり、くつろぎの場をつくることができます。

トレリスとは、ガーデニングなどで使用される、植物をからませるための木製の格子状のフェンスのことをいいます。

ワイヤーメッシュとはワイヤー等で作られた網状のフェンスで大規模な壁面を覆うことも可能です。

最近では、緑化ブロック等の専用の材料もあり、利用も増えています。この緑化ブロックは、駐車場だけでなく、擁壁等への利用も増えています。



右写真：駐車場に緑化ブロックを使用し、地被植物を植栽している事例

### (6) 屋上緑化

屋上緑化は、ヒートアイランド現象対策や断熱による建物の冷却方法等、環境対策として多く取り上げられています。緑地のとりづらい中心市街地等での実施も可能であり、今後、企業等を中心に需要が増えていくと考えられます。

また、一般住宅でも、ベランダ等に設置して、緑を楽しむくつろぎの場をつくることができます。



右写真：屋上に地被類による植栽をしている事例



右写真：屋上全面に緑化をしている事例

### (7) 地被植物による駐車場舗装面等への緑化

地被植物は、通常は緑化が難しいと考えられている場所へ植栽を行うことが可能です。たとえば、駐車場の舗装面に、車両の重力がかからない目地や隙間があれば、その部分に地被植物を植栽することで、人の目にふれる機会の多い駐車場を緑化することができます。

### ◆ 平塚市いけがき設置補助のご紹介 ◆

平塚市では次の要件を備えた「いけがき」に対する補助制度があります。

- (1) 総延長5メートル以上のものであること。
- (2) 樹木の高さは90センチメートル以上であること。
- (3) 樹木の植栽本数は、延長1メートルにつき、原則として3本以上であること。
- (4) いけがきを構成している土台の高さは、65センチメートル以下であること。
- (5) 樹木の種類は、市長が推奨するもので樹木が健全であること。
- (6) 植樹帯は、30センチメートル以上とし、植栽位置は公道等境界より25センチメートル以上内側とすること。

補助対象は、平塚市内に住宅用地を所有又は管理する方で、当該住宅用地にいけがきを設置する方に対してその設置に必要な経費について補助をするものです。

ただし、法人が設置する場合は対象になりません。補助金額は、いけがきの延長1メートルにつき3,000円です。



## 第2章 建物等用途別のガイドライン

## 住居系用途 景観形成のコンセプト

本市には、成り立ちを反映した様々な顔を持つ住宅地があります。また、生垣や庭づくり、地域の美化活動など、地域住民の自主的な取り組みによってうるおいのあるまちなみを随所に垣間見ることができます。地域の特性をいかした落ち着きとうるおいのある住宅地景観を守り育てていくため、個々の住居系用途の施設は、周辺の環境や建築物との調和・協調に配慮しながら、住心地良いデザインを考えていきましょう。

## 項目別デザイン基準

<p>① 周辺との 関わりを考える 位置・配置 高さ・規模</p>	<p>住居系用途の施設は、住み心地の良い落ち着きとうるおいが求められます。その場所特有の地形や自然環境、まちなみの歴史など、地域の個性と調和した敷地や建物の規模、配置に配慮しましょう。</p> 
<p>② 質を高める 外構・緑化</p>	<p>うるおいとやすらぎのある緑豊かなまちなみを形成し、生活環境の質を高めるため、住居系用途の施設では、周囲の緑との連続性や一体感を創出することが大切です。特に、緑が失われつつある場所、分断されつつある場所では、積極的に緑を補いましょう。</p> 
<p>③ まちなみを彩る 形態意匠 素材</p>	<p>住居系用途の施設のデザインや色彩は、それぞれ単独で考えるのではなく、地域での統一感を重視しましょう。統一感のあるまちなみは、個々の建物を引き立てるだけでなく、まちなみ全体が落ち着きのある魅力的なものとなります。</p> 

# ① 周辺との関わりを考える

## 位置・配置

### ■ 造成

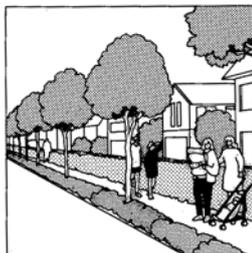
- 当該地域の景観特性に配慮し、地域特有の眺望や樹木等を保全・活用する計画としましょう。
- 切土・盛土など、土地の形状を変更する場合は、できる限り自然の地形をいかすとともに、周辺に圧迫感を与えないよう、高さや土留めなどの構造に配慮しましょう。
- 宅地開発では、通りに面して緑豊かなCOMMONスペース等を積極的に配置しましょう。



右写真：宅地開発で設置されたCOMMONスペース

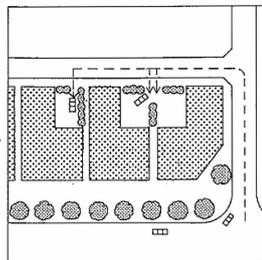
### ■ 建物

- 建物は、周辺に圧迫感を与えないよう、道路等の公共空間から距離をとった配置としましょう。



### ■ 駐車場

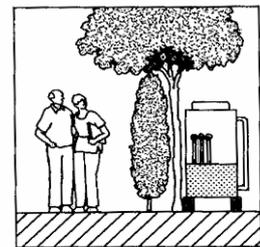
- 駐車場や駐輪場は、なるべく目立たない配置としましょう。



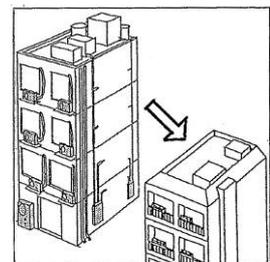
右：駐車場を裏側の配置とし、出入口以外を植栽で遮蔽する事例

### ■ 設備機器等

- 給水塔や空調の室外機・配管・ダクト・ゴミ集積所・プロパン庫等の工作物・設備類は、集約し、建物内部に取り込むか、道路・公園・広場等の公共の場から見えない場所に設置しましょう。



- 給水塔や電波塔・アンテナ・空調の室外機等の屋上設備類は、極力設置しないようにしましょう。



## 高さ・規模

### ■ 建物

- 建物の規模は、周辺との調和に配慮し、圧迫感を与えないようにしましょう。



- ・屋根のスカイラインを周辺と揃えることにより沿道景観がすっきりとします。

## ② 質を高める

### 外構・緑化

#### ■ 造成

○質の高い外構の一体的な先行整備により、魅力的な住宅地の形成に努めましょう。

#### ■ 塀・フェンス・生垣

○住宅の周囲は、ブロック塀や金網フェンスの使用を避け、生垣化に努めましょう。

○中高層住宅等で道路面等に塀等を設置する場合は、道路境界より後退させて、空いたスペースに植栽を行うなど、沿道景観に配慮しましょう。



右写真:塀を道路境界より後退させ、塀の手前に植栽した事例

#### ■ 緑化

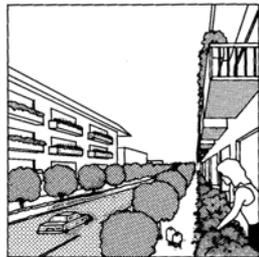
○通りに面する境界部やまちかどは、周辺の良好な自然環境や街路樹に調和するような植栽を行い、緑量を確保しましょう。



右写真:まちかどにスペースをとり、植栽している事例

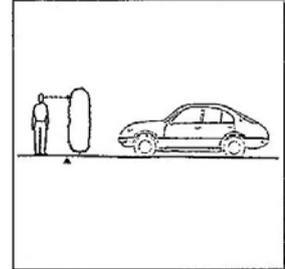
○エントランスは、シンボルツリーを植栽したり、フラワーポットを置くなど、魅力ある表情の演出に努めましょう。

○中高層住宅の場合は、窓辺に花や植木を配置して、緑化を行いましょう。



#### ■ 駐車場

○駐車場や駐輪場の境界部周辺は、緑化に努め、緑量を確保しましょう。境界部に植栽を行う場合は、歩行者から自動車のギラツキが見えないよう、植栽の高さは人の目より高くしましょう。



○駐車場の周囲にフェンスを設ける場合は、フェンスの外側に植栽を行い緑化に努めましょう。

○大規模な駐車場は、駐車区画線に合わせ高木の植栽を行いましょう。

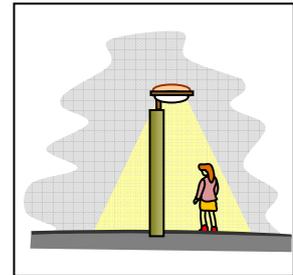
○鉄骨等によって造られた壁のない立体駐車場は、周辺部に沿って植栽を行ったり、つる性の植物等を使い、積極的な壁面緑化を行いましょう。

#### ■ 設備機器周辺

○設備等が露出してしまう場合は、ルーバーや遮蔽する効果のある植栽等で隠したり、建物とのデザインの調和に配慮しましょう。

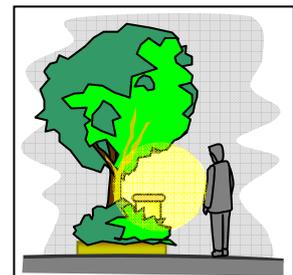
#### ■ 夜間照明

○夜間照明は、低めのポール照明やフットライトなどにより、住宅地らしい落ち着いた雰囲気の演出に努めましょう。



○照明は、暖色系の明かりを使用するなど、やさしさの演出に心がけましょう。

○中高層住宅のエントランスにあるシンボルツリー等は、ライトアップし、まちの風格を演出しましょう。

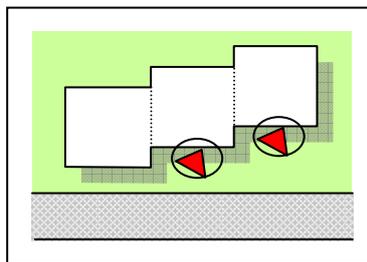


### ③ まちなみを彩る

#### 形態意匠

##### ■ 建物の形態意匠

- 建物は、周辺との調和やまちなみとの連続性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょう。
- 中高層住宅では、大壁面の連続を避け、壁面に凹凸をつけて分節化したり、雁行配置としたり、色彩などによって壁面に変化をつけることで単調な連続を避け、ボリューム感の軽減に努めましょう。また、中低層部の形態意匠を工夫し、歩行者が親しみをもてる空間をつくりましょう。



- 屋根形状は、周辺のまちなみに調和するような傾斜屋根等としましょう。
- ベランダやバルコニーは、物干し金具の位置を工夫したり不透視性のスクリーンを採用するなど、通りからの見え方に配慮しましょう。

##### ■ 建物の色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。

##### ■ 駐車場フェンス

- 駐車場フェンスは、目立たなくするよう、フェンスの高さ、デザインに配慮し、周辺との調和に努めましょう。色彩は、茶系統など低明度・低彩度の周辺と調和した色彩としましょう。

##### ■ アンテナ

- アンテナ類は、CATV化や集中化を図り、無秩序に林立することがないようにデザインに配慮しましょう。

##### ■ ゴミ集積所

- ゴミ集積所を設置する場合は、コンクリートブロック等による三面囲いのものは避け、ストッカー等ゴミが露出しないものとしましょう。

#### 素材

##### ■ 擁壁

- 擁壁の素材は、自然素材や緑化ブロック、その他の景観上良好な意匠を施した化粧ブロック等を積極的に採用しましょう。また、目地にも変化をつけるなど、周辺への圧迫感を軽減するような措置を施しましょう。



右写真：擁壁に階段状のブロックを使用し植栽している事例

##### ■ 建物

- 外壁や屋根は、耐久性、耐候性、退色性を考慮し、年月の経過で、風格や味わいが変わらない素材を使用するよう努めましょう。
- 輝度の高い金属板等の使用は避けましょう。
- 歩行者の目線に近い低層部分は、自然素材（木材・石材等）を活用しましょう。

##### ■ 駐車場舗装面

- 駐車場の舗装面は、インターロッキングや緑化ブロックなどによって目立たなくしたり、やわらかい印象を与えるよう工夫しましょう。規模の小さな駐車場では、枕木などの活用も考えられます。

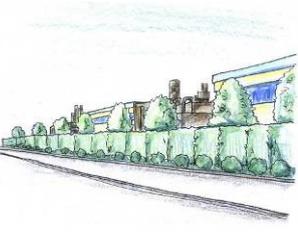


右写真：緑化ブロックを使用した事例

### 工業系用途 景観形成のコンセプト

本市では、火薬廠跡や相模川沿いに集積する工場群を始め、市街地に点在する工場地が作り出す工業地景観が、市の景観の特徴のひとつとなっています。また、塀の生垣化や敷地内の緑化に積極的に取り組む工場や事業所が増加しています。本市の活力のみなもとであり、緑があふれた親しみのある工業地景観を創出するため、工業系用途の施設は、地域の魅力や活力を引き出すとともに、市民に親しみやすいおいあるデザインを考えていきましょう。

### 項目別デザイン基準

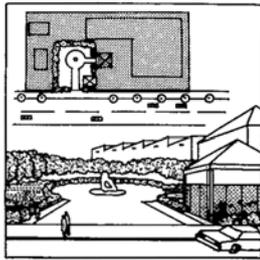
<div data-bbox="272 925 592 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 周辺との 関わりを考える 位置・配置 高さ・規模</p> </div>	<p>工業系用途の施設は、敷地や建物の規模が大きいことから、存在感が強く、地域の景観を特徴づけるものです。周辺環境に配慮しながら、敷地の利用方法や建物の配置、規模を工夫することにより、快適で魅力ある工場景観を創出しましょう。</p> 
<div data-bbox="384 1339 676 1574" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>② 質を高める 外構・緑化</p> </div>	<p>工業系用途の施設の圧迫感を和らげ、地域の質を高めるためには、通りから見える景観に配慮することが大切です。敷地の境界部は、できるだけ空間にゆとりを持たせ、緑を効果的に活用することにより、歩行者の目をうるおすような外構を整備しましょう。</p> 
<div data-bbox="272 1749 592 1984" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ まちなみを彩る 形態意匠 素材</p> </div>	<p>工業系用途の施設は、企業メッセージを発信するとともに、市民に親しまれることが求められます。規模が大きい工業系施設は、デザインが単調になりがちです。壁面は、分節化したり曲線を織り交ぜるなどして、変化ある表情をつくりましょう。またコーポレートカラーは、アクセントとして効果的に活用しましょう。</p> 

## ① 周辺との関わりを考える

### 位置・配置

#### ■ 土地造成

- 当該地域の景観特性に配慮し、地域特有の眺望や樹木等を保全・活用する計画としましょう。
- 切土・盛土など、土地の形状を変更する場合は、できる限り自然の地形をいかすとともに、周辺に圧迫感を与えないよう、高さや土留めなどの構造に配慮しましょう。
- 工場地をデザインする際は、通りに面して緑豊かなcommonsスペース等を積極的に配置しましょう。

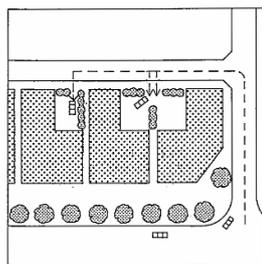


#### ■ 建物

- 敷地が十分大きい場合は、周辺に圧迫感を与えないよう、道路等の公共空間から距離をとった配置としましょう。
- 建物配置に変化をもたせることにより、表情豊かな空間の創出に努めましょう。

#### ■ 駐車場

- 駐車場や駐輪場は、なるべく目立たない配置としましょう。



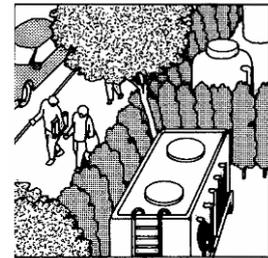
右：駐車場を裏側の配置とし、出入口以外を植栽で遮蔽している事例

#### ■ 設備機器等

- 鉄塔・煙突は、通りから目立たない位置に配置し、色彩は周辺環境との調和に配慮しましょう。



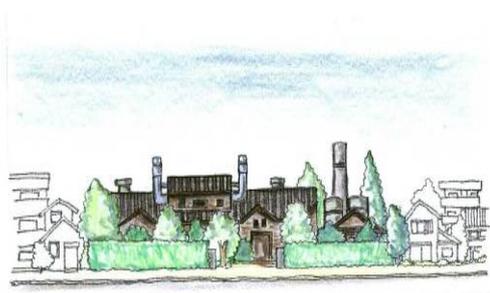
- 給水塔や空調の室外機・配管・ダクト・ゴミ置き場・プロパン庫等の工作物・設備類は、集約し、建物内部に取り込むか、道路・公園・広場等の公共の場から見えない場所に設置しましょう。



### 高さ・規模

#### ■ 建物

- 建物の規模は、周辺との調和に配慮し、圧迫感を与えないようにしましょう。



## ② 質を高める

### 外構・緑化

#### ■ 緩衝緑地帯

○緑の連続性の確保や、周辺への圧迫感をやわらげるため、敷地の境界に沿ってその内側に緩衝緑地帯を設置しましょう。

○緩衝を目的とした植栽の幅は、最低3m程度必要です。

#### ■ 塀・フェンス・生垣

○通りに面する工場のブロック塀や金網フェンスは、撤去又は後退し、道路沿いには、周辺の街路樹等と調和した遮蔽効果のある植栽を行きましょう。やむを得ずフェンス等を設置する場合は、植栽の内側に設置するようにしましょう。



右写真：植栽の内側にフェンスを設置している事例



#### ■ 緑化

○通りに面する境界部は、周辺の良好な自然環境や街路樹に調和するような植栽を行い、緑量を確保しましょう。

右写真：道路境界部に高木の並木をつくっている事例



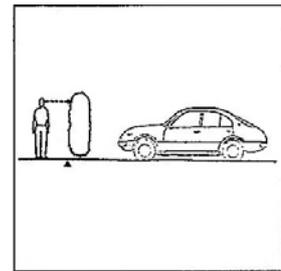
○市街地に工場を立地する場合は、うるおいとやすらぎのあるまちなみの形成を図るために、工場の内部の植栽を行きましょう。



右写真：フェンスにバラをからませ修景している事例

#### ■ 駐車場

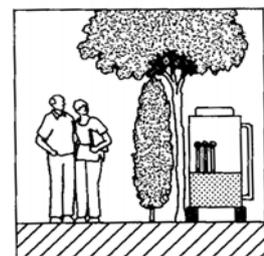
○駐車場や駐輪場の境界部周辺は、緑化に努め、緑量を確保しましょう。境界部に植栽を行う場合は、歩行者から自動車のガラスが見えないよう、植栽の高さは人の目より高くしましょう。



#### ■ 設備機器周辺

○設備等が露出してしまう場合は、ルーバーや遮蔽する効果のある植栽等で隠したり、建物とのデザインの調和に配慮しましょう。

○遮蔽のための植栽は、枝葉の密生した樹種を選び、厚さ0.5m以上で、一定に仕上げると遮蔽する効果が高まります。

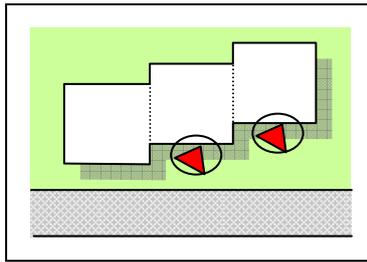


### ③ まちなみを彩る

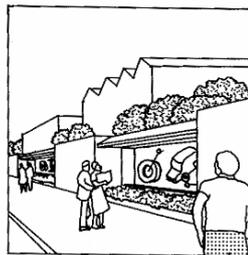
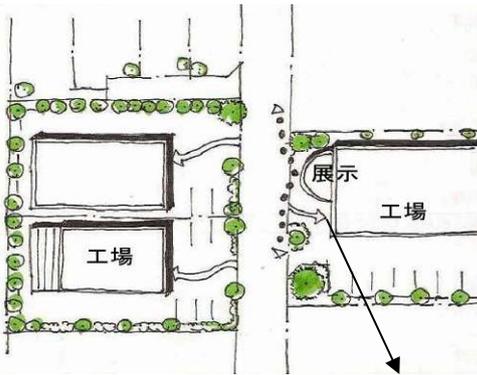
#### 形態意匠

##### ■ 建物の形態意匠

- 建物は、周辺との調和やまちなみとの連続性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょう。
- 大壁面の連続を避け、壁面に凹凸をつけて分節化したり、雁行配置としたり、色彩などによって壁面に変化をつけることで単調な連続を避け、ボリューム感の軽減に努めましょう。



- 工場の通りに面する部分は、可能なかぎり、工場での製品の展示スペースを設けるなど、ショーウィンドー化を図りましょう。



##### ■ 建物の色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。
- コーポレートカラーは、ワンポイントで使うなど、周辺景観との調和に努めましょう。

##### ■ アンテナ

- アンテナ類は、CATV化や集中化を図り、無秩序に林立することがないようにデザインに配慮しましょう。

##### ■ 広告物

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょう。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょう。

#### 素材

##### ■ 擁壁

- 擁壁の素材は、自然素材や緑化ブロック、その他の景観上良好な意匠を施した化粧ブロック等を積極的に採用しましょう。また、目地にも変化をつけるなど、周辺への圧迫感を軽減するような措置を施しましょう。



右写真:擁壁に緑化ブロックを使用した事例

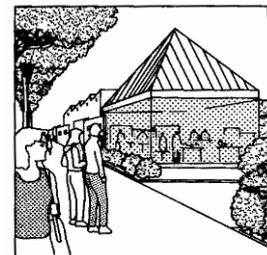
##### ■ 建物

- 外壁の素材は、耐久性、耐候性、退色性を考慮しましょう。
- 屋根の素材は、輝度の高い金属板等の使用は避けましょう。

#### その他

##### ■ 演出

- ショールームを設置したり、製造工程が見学できるようにするなど、地域に開かれた工場空間としてイメージアップに心がけましょう。
- 休業日の工場敷地内のオープンスペースの一部開放等、積極的に市民の憩いの場となる広場を創出しましょう。



### 商業系用途 景観形成のコンセプト

本市には、平塚駅周辺の中心商業地を始め、幹線道路沿いの商業地や日々の暮らしを支える地域の商店街など、多様な個性のある商業地があります。地域の個性をいかしたにぎわいと潤いのある商業地景観を創出するため、商業系用途の施設は、多くの人が集い活気にあふれる空間となるよう質の高いデザインを考えていきましょう。

### 項目別デザイン基準

<div data-bbox="272 925 592 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 周辺との 関わりを考える 位置・配置 高さ・規模</p> </div>	<p>にぎわいと活気が求められる商業系用途の施設は、歩行者が足を留めて楽しむ工夫が必要です。敷地の規模に応じてオープンスペースを確保し、ゆとりの空間を創出しましょう。</p> 
<div data-bbox="384 1339 676 1574" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>② 質を高める 外構・緑化</p> </div>	<p>店先などでは、来訪者を出迎えるおもてなしを演出することが大切です。シンボルツリーからプランターまで、様々なスケールの緑や花を活用するなど、通りに合った演出で店先を彩り、まちなみの魅力を高めましょう。</p> 
<div data-bbox="272 1749 592 1984" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ まちなみを彩る 形態意匠 素材</p> </div>	<p>商業系用途の施設は、来訪者から親しまれるとともに、まちなみと一体感のあるデザインや色彩に配慮しましょう。建物の低層部は、まちなみの中でセンスが光る、楽しく魅力的なファザードを演出しましょう。</p> 

# ① 周辺との関わりを考える

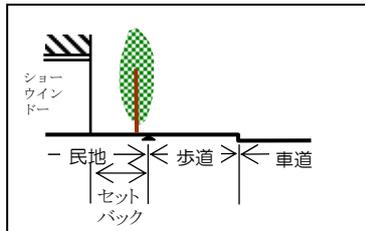
## 位置・配置

### ■ 造成

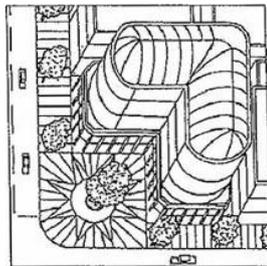
- 当該地域の景観特性に配慮し、地域特有の眺望や樹木等を保全・活用する計画としましょう。
- 切土・盛土など、土地の形状を変更する場合は、できる限り自然の地形をいかすとともに、周辺に圧迫感を与えないよう、高さや土留めなどの構造に配慮しましょう。
- 商業地をデザインする際は、緑豊かな歩行者空間やコモンスペース等を積極的に配置しましょう。

### ■ 建物

- 周辺の建物と壁面のラインをできるだけ揃え、沿道のリズムを乱さないようにしましょう。
- 通りに対してセットバック（壁面後退）し、人々を引き込み、滞留させる、ゆとりの空間を確保しましょう。



- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。

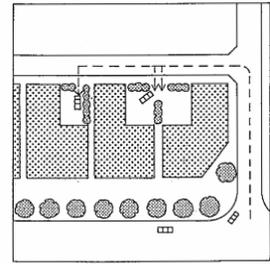


- 規模の大きい商業施設は、周辺に圧迫感を与えないよう、道路等の公共空間から距離をとった配置としましょう。
- 一つの敷地内に複数の店舗を配置する場合は、建物配置に変化を持たせることにより、表情豊かな空間の創出に努めましょう。

### ■ 駐車場

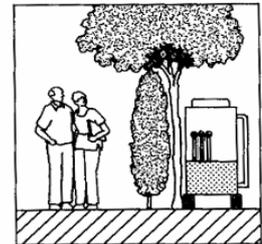
- 駐車場や駐輪場は、なるべく目立たない配置としましょう。
- 商店街のまちなみの連続性がとぎれないよう、駐車場の出入口は通りに面して設置しないようにしましょう。やむを得ない場合は、出入口を一箇所に集約して出入口の面積を最小限にし、植栽を設けたりデザインを工夫するなどして、にぎわいの連続を確

- 2つの駐車場が接する場合は、互いに向かい合わせ、出入口を1ヶ所にしぼるようにしましょう。

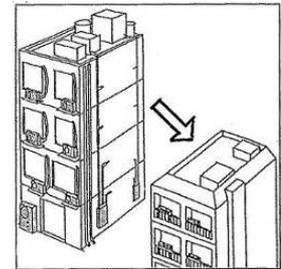


### ■ 設備機器等

- 給水塔や空調の室外機・配管・ダクト・ゴミ集積所・プロパン庫等の工作物・設備類は、集約し、建物内部に取り込むか、道路・公園・広場等の公共の場から見えない場所に設置しましょう。



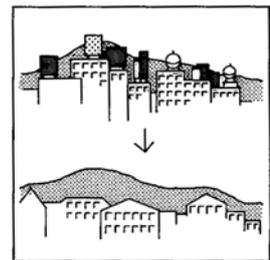
- 給水塔や電波塔・アンテナ・空調の室外機等の屋上設備類や屋上広告物は、極力設置しないようにしましょう。



## 高さ・規模

### ■ 建物

- 建物の規模は、周辺との調和に配慮し、圧迫感を与えないようにしましょう。
- 建物のスカイラインは、連続性のある高さとしましょう。



## ② 質を高める

### 外構・緑化

#### ■ 緑化

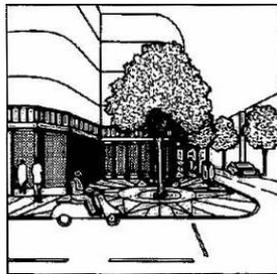
- 通りに面する境界部は、周辺の良好な自然環境や街路樹に調和するような植栽を行い、緑量を確保しましょう。
- エントランスは、シンボルツリーを植栽したり、フラワーポットを置くなど、魅力ある表情の演出に努めましょう。

#### ■ セットバック空間

- セットバックにより設けた空間には、うるおいと安らぎを与える周辺の街路樹と調和した植栽や、ベンチ・フラワーポットなどを配置することにより、にぎわいや楽しさを創出しましょう。

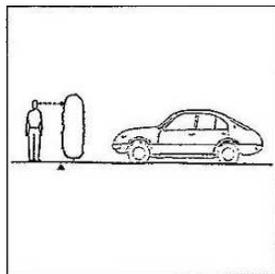


- まちかどに設けた空地には、木かげを創出したり、まちかどのめじるしとなるよう、シンボルツリーを設置しましょう。

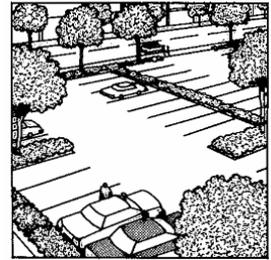


#### ■ 駐車場

- 駐車場や駐輪場の境界部周辺は、緑化に努め、緑量を確保しましょう。境界部に植栽を行う場合は、歩行者から自動車のギラツキが見えないよう、植栽の高さは人の目より高くしましょう。



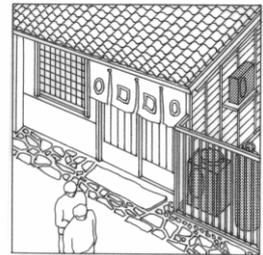
- 駐車場の周囲にフェンスを設ける場合はフェンスの外側に植栽を行い緑化に努めましょう。緑化するスペースのない場合は、目立たなくするよう、フェンスの高さ、デザインに配慮し、周辺との調和に努めましょう。色彩は、茶系統など低明度・低彩度の周辺と調和した色彩としましょう。
- 大規模な駐車場は、駐車区画線に合わせ高木の植栽を行いましょう。



- 鉄骨等によって造られた壁のない立体駐車場は、周辺部に沿って植栽を行ったり、つる性の植物等を使い、積極的な壁面緑化を行いましょう。

#### ■ 設備機器周辺

- 設備等が露出してしまう場合は、ルーバーや遮蔽する効果のある植栽等で隠したり、建物とのデザインの調和に配慮しましょう。

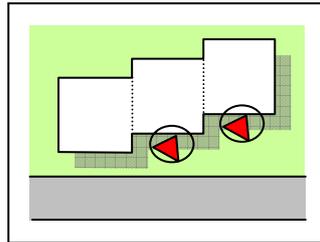


### ③ まちなみを彩る

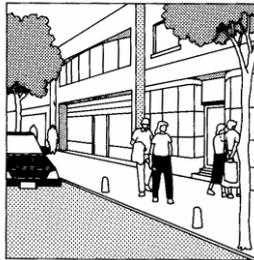
#### 形態意匠

##### ■ 建物の形態意匠

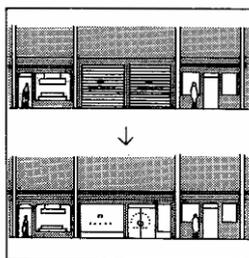
- 建物は、周辺との調和やまちなみとの連続性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょう。
- 大壁面の連続を避け、壁面に凹凸をつけて分節化したり、雁行配置としたり、色彩などによって壁面に変化をつけることで単調な連続を避け、ボリューム感の軽減に努めましょう。



- 通りに面する建物のデザインは、一階部分の軒高や見切り線をそろえるなど、通りからの見え方に配慮しましょう。



- ファサードは、お店のイメージにあった様々な演出を行い、歩行者空間や通りの表情を豊かにするよう努めましょう。
- シャッターは、パイプシャッター等の透過性のあるものを用い、夜間に照明を消さない等、通りのにぎわいを確保しましょう。特に、早い時間に閉店する銀行等は、通りのにぎわいを演出するよう、シャッターや照明に留意しましょう。



- 大規模な建築物の場合は、中低層部の形態意匠を工夫し、歩行者が親しみをもてる空間をつくりましょう。

- 中心商業地では、建物の一階部分は、商業業務系用途としましょう。その一階部分では、歩行者を引き込むような、店内の様子が伺える開放的なファサードを採用し、商品の陳列・展示によるショーウィンドー化を目指しましょう。



- ランドマークとなるまちかどの建物は、まちかど広場と合わせて、地域の特性に配慮したデザインの建物としましょう。

##### ■ 建物の色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。
- コーポレートカラーは、ワンポイントで使うなど、周辺景観との調和に努めましょう。

##### ■ アンテナ

- アンテナ類は、CATV化や集中化を図り、無秩序に林立することがないようにデザインに配慮しましょう。

##### ■ 駐車場フェンス

- 駐車場フェンスは、目立たなくするよう、フェンスの高さ、デザインに配慮し、周辺との調和に努めましょう。色彩は、茶系統など低明度・低彩度の周辺と調和した色彩としましょう。

##### ■ 広告物・サイン

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょう。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょう。
- サインは、必要な情報の伝達のみでなく、わかりやすさ、適切な配置と内容・美しさ・周辺環境との調和をもった統一と秩序あるものに配慮しましょう。

## ■ アーケード・ゲート

- 店舗単独のアーケードは、極力設置しないようにしましょう。
- 既存のアーケードを改造する場合は軒高が高く連続性があるものとし、透過性の高い屋根の素材や片もちの構造にする等、歩行者にとって明るくゆとりが感じられるようにしましょう。
- ゲートを設ける場合は、道路をまたぐアーチ状のものを避け、すっきりとしたデザインの柱状のものとしましょう。

## 素材

### ■ 擁壁

- 擁壁の素材は、自然素材や緑化ブロック、その他の景観上良好な意匠を施した化粧ブロック等を積極的に採用しましょう。また、目地にも変化をつけるなど、周辺への圧迫感を軽減するような措置を施しましょう。

### ■ 建物

- 外壁や屋根は、耐久性、耐候性、退色性を考慮し、年月の経過で、風格や味わいが変わらない素材を使用するよう努めましょう。
- 輝度の高い金属板等の使用は避けましょう。
- 歩行者の目線に近い低層部分は、自然素材（木材・石材等）を活用しましょう。

### ■ 駐車場舗装面

- 駐車場の舗装面は、インターロッキングや緑化ブロックなどによって目立たなくしたり、やわらかい印象を与えるよう工夫しましょう。規模の小さな駐車場では、枕木などの活用も考えられます。

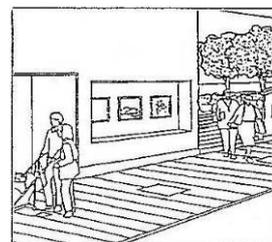


右写真:緑化ブロックを使用した事例

## その他

### ■ ストリートギャラリー

- みちすじが画廊のような空間となるよう「壁画の道」づくりや絵タイル使用により演出しましょう。ただし、装飾過多にならないよう留意しましょう。実現にあたっては、市民参加方式を取り入れましょう。



### ■ ユニバーサルデザイン

- ユニバーサルデザインを進めることで、誰もが通行しやすく、わかりやすいまちづくりを進めると同時に、景観に配慮した、心地よいデザインとしましょう。
- スロープを設置する場合は、折り返しが多いと景観上良くないため、周辺にとけ込むようなデザインとしましょう。
- 手すりを設置する場合は、設置する場所（屋外・屋内）に応じた耐久性や耐食性があるものとし、材質は、触ったときの感触にも配慮し冬に冷たさを感じにくい木材等を用いるなど、細部にも配慮しましょう。

### ■ 演出

- 時間帯や季節・場所に合わせてイルミネーションを行うなど、魅力的な夜景づくりを行いましょう。
- 周辺の環境を考慮して、目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切にしましょう。また、空間的な余裕がある場合は、自然を感じさせる水音の演出なども効果的に活用しましょう。
- まつりやオープンカフェなどを開催し、にぎわいのある景観づくりを行いましょう。



右写真:商店街でのフリーマーケットの様子

### 工作物 景観形成のコンセプト

工作物などは、山並みへの眺望景観や田園景観などを阻害しないように設置場所に配慮するとともに、周辺景観との調和と圧迫感の軽減を図るため、立地環境に応じた規模、構造、デザイン、色彩などに留意するとともに、緑を効果的に活用しましょう。

#### 工作物

##### ■ 配置

- 景観阻害要因とならないよう、工作物は樹木や建物背後に配置するように努めましょう。

##### ■ 形態意匠

- 工作物の規模・デザインは、周辺の自然やまちなみとの連続性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないよう努めましょう。
- 建築物と一体に建設を行う場合は、建築物本体の形態や意匠と調和したものとしましょう。
- 工作物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。

##### ■ 外構

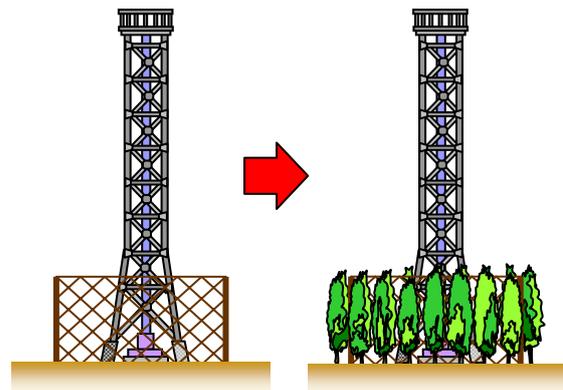
- 工作物の周辺は、緑化に努め、視覚的・心理的圧迫感の軽減に努めましょう。
- 工作物周辺をフェンスで囲う場合はフェンスの色彩は、周辺との調和に配慮し、原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。

##### ■ 素材

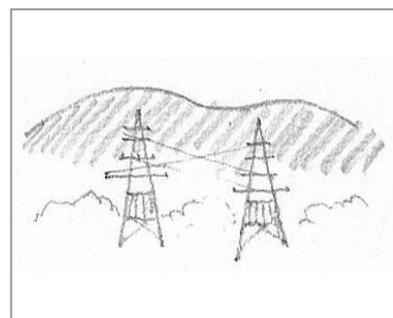
- 素材は輝度の高い金属等を避け、周辺への圧迫感を軽減しましょう。

##### ■ 広告物

- 工作物に付帯する広告看板は極力設置しないようにしましょう。



- ・工作物周辺をフェンスで囲む場合は、フェンスの外側に植栽を行います。



- ・工作物はスカイラインの美しさを妨げないよう尾根からできるだけ低く配置します。

## 立体駐車場等

### ■ 配置

○立体駐車場の配置は、沿道から奥まった場所としましょう。やむを得ず沿道に配置する場合は周囲を高木で囲むようにし、修景に努めましょう。

### ■ 色彩

○立体駐車場の色彩は、周辺の建物の壁面と調和したものとしましょう。

### ■ 壁面緑化

○立体駐車場の壁面には、つる性の植物等を使い、積極的な壁面緑化を行いましょう。



右写真：立体駐車場をルーバーで遮蔽し、周囲に植栽をしている事例

## 擁壁等

### ■ 規模

○擁壁を計画する場合は、できるだけ高さを抑えましょう。

○住宅地に擁壁をつくる場合は、人の視線程度の高さまでに抑えるよう配慮しましょう。

### ■ 緑化

○擁壁は、前面道路からできるだけ後退させ、後退部分にスクリーン効果の高い緑を配置し、擁壁の圧迫感を軽減させましょう。

### ■ 形態

○勾配は、できるだけゆるやかなものとしたり、階段状の植栽が可能なブロック等を採用しましょう。

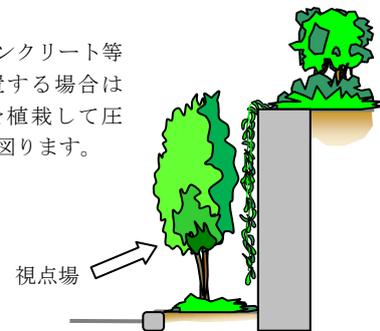
### ■ 素材

○擁壁の素材は、自然素材や緑化ブロック、その他の景観上良好な意匠を施した化粧ブロック等を積極的に採用しましょう。また、目地にも変化をつけるなど、周辺への圧迫感を軽減するような措置を施しましょう。



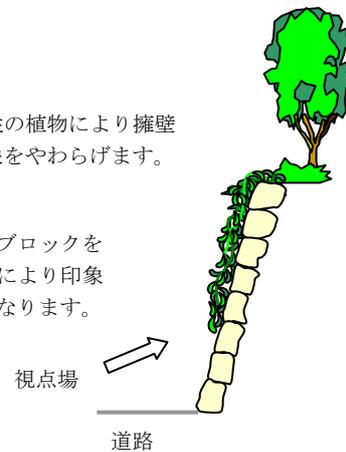
右写真：擁壁に石材を使い、自然の風合いを出している。

・やむを得ずコンクリート等の擁壁を設置する場合は前面に高木を植栽して圧迫感の軽減を図ります。

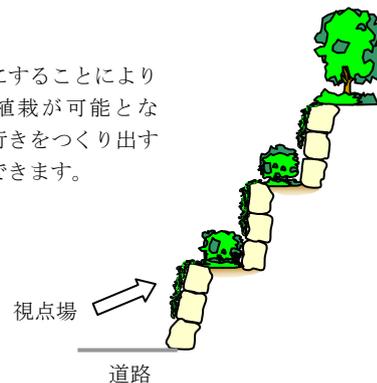


・つる性の植物により擁壁の印象をやわらげます。

・自然石や化粧ブロックを使用することにより印象がやわらかくなります。



・階段状にすることにより段上に植栽が可能となり、奥行きをつくり出すことができます。



### 屋外広告物 景観形成のコンセプト

屋外広告物は、周辺の景観に好影響を与え、まちなみの魅力を高めるものとなるよう、設置場所や方法、規模に留意するとともに、デザイン、色彩、素材に配慮しましょう。

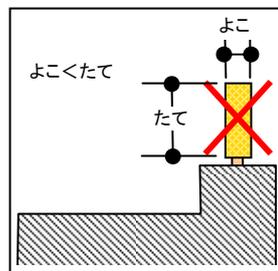
#### 設置場所

- 広告物の設置場所は、豊かな植栽や松並木への眺望を妨げない所としましょう。
- 歴史的な資源の周辺は、説明板等の資源に関するもの以外の看板等は、設置しないようにしましょう。
- 海岸沿いに野立看板は設置しないようにしましょう。

#### 設置位置

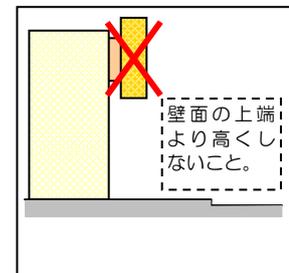
- まちなみの一体感に配慮し、同じ街路に面した同一街区の看板は、同じ高さに設置するよう努めましょう。
- 壁面の広告物はできるだけ低層部に設置するようしましょう。

屋上に設置する広告物の縦横比は、横÷縦 $\geq$ 1となるようにする



#### 表示方法

- 広告物は同一内容のものを連続して表示しないように努めましょう。
- 建物の総壁面積に対する広告物の表示面積はできるだけ小さくし、通りに面する正面の壁面は極力掲出量を抑えるように努めましょう。

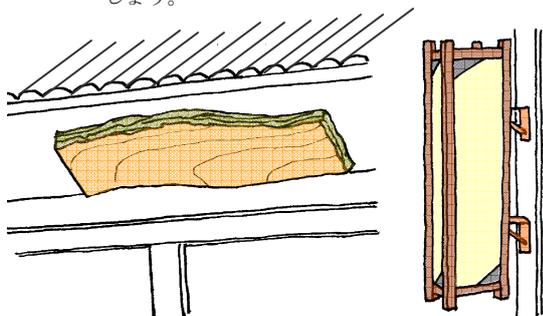


- 閃光を発したり、動いたりする看板ではなく、間接照明を施すなど、控えめなデザインとすることでイメージアップを心がけましょう。
- 日よけテントは原則として看板に使用しないようにしましょう。やむをえず使用する場合は、デザインに十分配慮し、まちなみと建物との調和に配慮した落ち着いたものとしましょう。

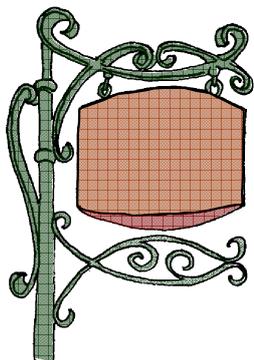
## デザイン・色彩

○看板には、木、金属、プラスチック、ネオンランプ、帆布など様々な素材がありますが、建物全体と調和した質の高い素材を選びましょう。

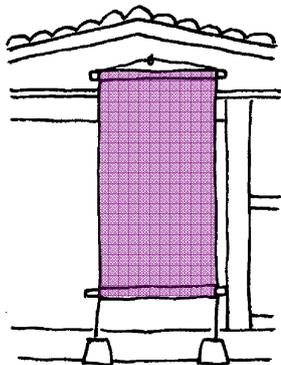
- ・木 木の持つ暖かみでうるおいある景観をつくりましょう。



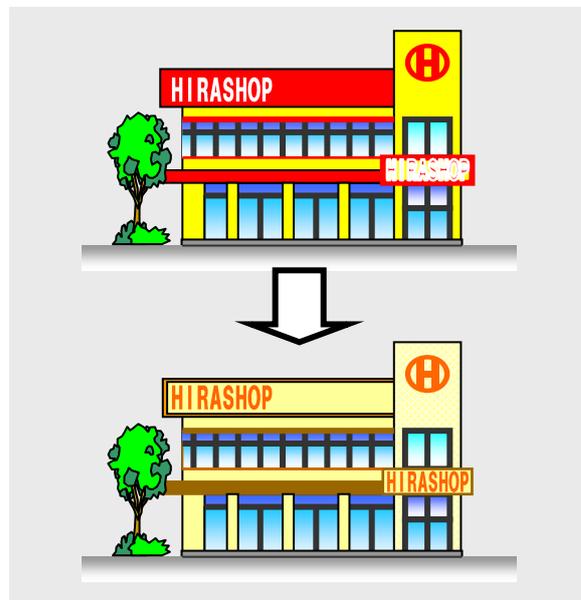
- ・鋳物 鋳物の持つ格調と独特な重量感をいかしましょう。



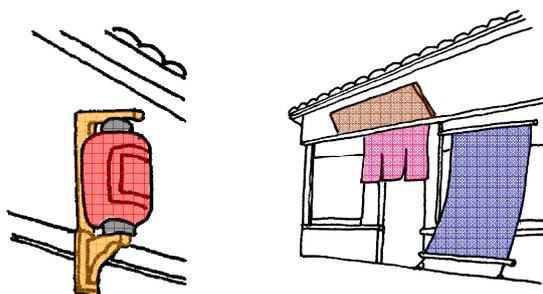
- ・布 のれんや日よけ幕などによる和の雰囲気をかきましょう。



○広告物に使用する色彩は原色や突出色を避けた配色としましょう。特にベースカラーは彩度を抑え、素材をいかしたナチュラルカラーやアースカラーなどを用いるようにしましょう。コーポレートカラーなどの彩度が高い場合は、ベースカラーではなく、文字などの表示色として使用しましょう。



○伝統色は、地域性に根ざしたものであり、自然や周囲の環境とよく調和します。歴史の感じられる地域ではこれらを積極的に活用し、広告物に風格と落ち着きをもたせましょう。



### 公共的空間の景観形成のコンセプト

コモンスペースやセットバック空間など、一般に開放される民有地を含めた公共的空間は、まちなみにうるおいやゆとりを与え、良好な景観形成に大きな効果を発揮します。積極的に創出して活用しましょう。

#### コモンスペース

##### ■ 計画

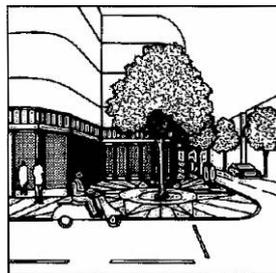
- 開発地をデザインする際は、地域にゆとりと憩いの空間を提供し、その地域の付加価値を高めるようなコモンスペースを設置しましょう。特に公共性のある施設では、積極的に設置を検討しましょう。

##### ■ 配置

- コモンスペースを設置する場合は、沿道に配置しましょう。

##### ■ まちかど

- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。



##### ■ デザイン

- 隣接する敷地にコモンスペースがある場合、新たに設置するコモンスペースはこれと連続するように配置し、一体感のあるデザインとしましょう。
- コモンスペースは市民が気軽にくつろぐことができるよう、塀をなくし、開放感を持たせ、様々な形で水や緑を導入し、また、ベンチ、テーブル、パブリックアート等の設置により都市のうるおいを創出しましょう。



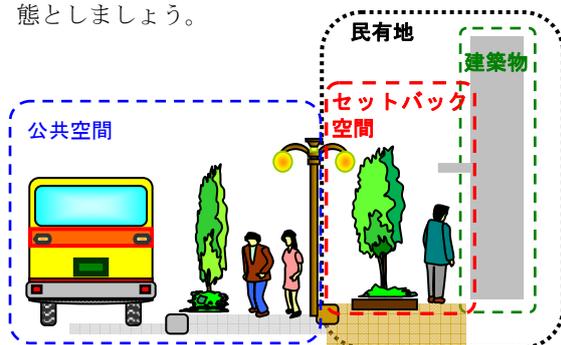
右写真：集合住宅につくられたコモンスペース



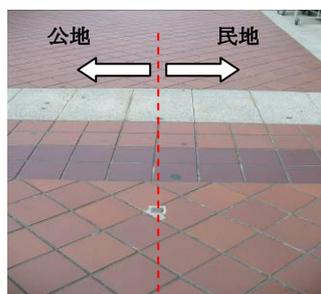
右写真：住宅地開発でつくられた石畳の街区内通路

## セットバック空間

- 通りに対するセットバック（壁面後退）により、空間に広がりを生み出しましょう。歩行者が一休みできる場や、待ち合わせの場を提供し、ゆとりの空間を創出しましょう。
- 集合住宅、商業施設等の大型施設においては積極的なセットバックを行いましょう。
- 敷地に余裕がある場合は歩道状の空地を設け、歩行者への開放感を演出しましょう。その場合、境界の段差等の障害をなくすなど、一体的に利用できる形態としましょう。



- 歩道とそれに連続する歩道状の空地は、舗装素材やパターンを合わせ、また、見た目にも素材感や色調を揃えたり、境界部がわかる目印も最小限のものとして、官民境界ブロックが目立たないようにしましょう。



公地と民地で舗装を合わせると、公共性の高い空間を創出することができます。

- 歩行者等の通行機能が優先される歩道と、歩行者が滞留する空地で空間の機能を分ける場合には、植栽やストリートファニチュアなどで、緩やかに仕切るようにしましょう。仕切りのデザインは、柵や生垣など、堅さを感じさせる壁とならないよう透過性ややわらかなしつらえを工夫しましょう。



右写真：植栽でしきたれた歩道状空地の事例

- 商業地等で建物全体の後退が難しい場合は1階部分のセットバックを検討し、歩行者を引き込むような工夫をしましょう。



右写真：1階部分をセットバックし、歩行者を引き込む工夫がされている

- 商業地等で道路面に対し、一壁面が連続するような建物の場合には、柱を生かした回廊状（コロネード）のしつらえや、低層部にオープンテラスの店舗を連続的に配置するなどして歩行空間ににぎわいを創出する方法も考えられます。



右写真：1階部分を回廊状にし、引き込み空間を創出している

- セットバックした空間に、ベンチやフラワーポットなどを配置することにより、にぎわいや楽しさを創出しましょう。



- 敷地内や屋内に通りが出来る空き地を積極的に採用し、地域に新たな回遊性を創出しましょう。

### 第3章 景観重点区域のガイドライン

## 海へのシンボル軸 景観形成のコンセプト

海へのシンボル軸は、松の緑が豊かな、湘南の趣きを感じる、平塚駅南口から海岸に至るなぎさプロムナードに沿った区域です。景観づくりの基本方針は、海を感じるシンボル軸の形成と松並木と調和するまちなみの形成を目指します。

### ① 周辺との関わりを考える

#### 位置・配置

##### ■ 建物

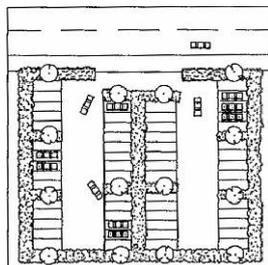
- 周辺の建物と壁面のラインをできるだけ揃え、沿道のリズムを乱さないようにしましょう。
- 南口駅前やなぎさプロムナード沿いの商店街では、セットバックし、人々を引き込み、対流させる空間を確保しましょう。
- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。



右写真:セットバックし、既存の松を保存して引き込み空間をつくり出しています。

##### ■ 駐車場配置

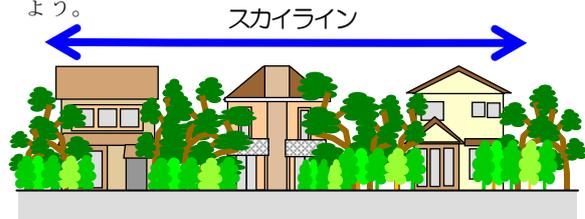
- まちなみやそのにぎわいを分断する駐車場の出入口は、通りに面して設置しないようにしましょう。やむを得ない場合は、出入口を一箇所に集約して出入口の面積を最小限にし、植栽を設けたりデザインを工夫するなどして、にぎわいの連続を確保しましょう。



#### 高さ・規模

##### ■ 建物

- 建物のスカイラインは、連続性のある高さとしましょう。



### ② 質を高める

#### 外構・緑化

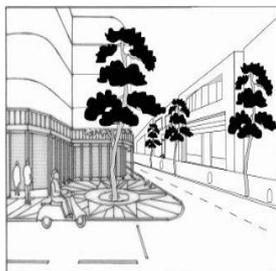
##### ■ 塀・フェンス・生け垣

- 住宅の周囲は、ブロック塀や金網フェンスの使用を避け、生垣化に努めましょう。
- まちなみの雰囲気にあった瓦屋根付土塀等は積極的に保存・活用しましょう。

##### ■ 緑化

- 通りに面する境界部に沿って、高木の並木となる植栽を行いましょう。
- 樹種は、海岸に至る緑豊かなイメージをめざし、海岸付近の松林に合わせてクロマツ等の常緑樹を用いるようにしましょう。

- まちかどに設けた空地には、木かげを創出したり、まちかどのめじるしとなるよう、シンボルツリーを設置しましょう。



### ③ まちなみを彩る

#### 形態・意匠

##### ■ 建物の形態意匠

- 建物は、海や松並木と調和するまちなみに配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょう。



- 海のシンボル軸内の建物のデザインは、一階部分の軒高や見切り線をそろえるなど、通りからの見え方に配慮しましょう。
- ランドマークとなるまちかどの建物は、まちかど広場と合わせて、地域の特性に配慮したデザインの建物としましょう。
- 旧別荘地の建物の敷地は、その雰囲気を残すよう、建物が豊かな樹木に囲まれた状態となるような敷地規模としましょう。

##### ■ 色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。
- 湘南海岸の松林や周辺の街路樹・植栽（特に松）との調和に配慮した色彩にしましょう。

#### その他

##### ■ 広告物

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょう。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょう。
- 広告物のデザインは、海や松並木との調和に配慮しましょう。特に色彩は、原色や突出色を避け、まちなみや建物と講和した落ちついたものとしましょう。
- 広告物は、同一内容のものを連続して表示しないように努めましょう。
- サインは、必要な情報の伝達のみでなく、わかりやすさ、適切な配置と内容・美しさ・周辺環境との調和をもった統一と秩序あるものに配慮しましょう。

##### ■ 演出

- 時間帯や季節・場所に合わせて、ライトアップを行うなど、地域の特性を感じさせる魅力的な夜景づくりを行いましょう。



右写真：天の川をイメージした「湘南ひらつか竹燈祭」

- 海へのシンボル軸では、周辺の環境を考慮して、目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切にしましょう。また、空間的な余裕がある場合は、自然を感じさせる水音の演出なども効果的に活用しましょう。



右写真：なぎさブロムナード

## 都市のシンボル軸 景観形成のコンセプト

都市のシンボル軸は、本市の顔としての魅力や活力を印象づける、平塚駅北口から、市役所などの行政機関や文化施設などの集積した地区を経て総合公園に至る区域です。景観づくりの基本方針は、都心の顔となるシンボル軸の形成と公共施設のシンボル性の創出を図り、緑豊かなまちなみの形成を目指します。

### ① 周辺との関わりを考える

#### 位置・配置

##### ■ 建物

- 周辺の建物と壁面のラインをできるだけ揃え、沿道のリズムを乱さないようにしましょう。
- 北口駅前や駅前大通り沿いの商店街では、セットバックし、人々を引き込み、対流させる空間を確保しましょう。
- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。

##### ■ 駐車場

- まちなみやそのにぎわいを分断する駐車場の出入口は、通りに面して設置しないようにしましょう。やむを得ない場合は、出入口を一箇所に集約して出入口の面積を最小限にし、植栽を設けたりデザインを工夫するなどして、にぎわいの連続を確保しましょう。

##### ■ 鉄塔・煙突

- 公園通りに面する工場は、鉄塔・煙突は通りから目立たない位置に配置し、色彩は周辺環境との調和に配慮しましょう。

#### 高さ・規模

##### ■ 建物

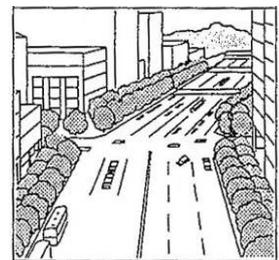
- 建物のスカイラインは、連続性のある高さとしましょう。

### ② 質を高める

#### 外構・緑化

##### ■ 緑化

- 総合公園から続く緑の連続性の創出を図るため、周辺の施設の敷地内に総合公園の緑量と同程度の植栽を通りに面した部分に行いましょう。その場合、樹種は、周辺の街路樹や植栽、特に平塚八幡宮の杜や総合公園の植栽との連続性を考慮し、それと調和したものをを用いるようにしましょう。
- 通りに面する境界部へ植栽を行う場合、樹種は、平塚八幡宮の森に調和した緑豊かなイメージをめざし、彩りのある花木（例えば平塚八幡宮付近のヤエザクラ並木等）を用い、四季の変化が感じられる落葉樹等を用いるようにしましょう。



- まちかどに設けた空地には、木かげを創出したり、まちかどのめじるしとなるよう、シンボルツリーを設置しましょう。

## ■ 工場の外構

- 通りに面する工場のブロック塀や金網フェンスは、撤去又は後退し、道路沿いには、周辺の街路樹等と調和した遮蔽効果のある植栽を行いましょ。やむを得ずフェンス等を設置する場合は植栽の内側に設置するようにしましょ。



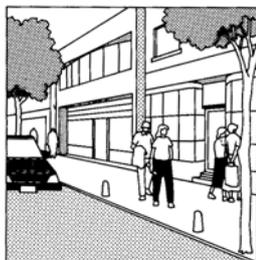
右写真：沿道にバラを植栽している事例

## ③ まちなみを彩る

### 形態・意匠

#### ■ 建物の形態意匠

- 建物は、都市の顔となるシンボル性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょ。
- 都市のシンボル軸内のデザインは、一階部分の軒高や見切り線をそろえるなど、通りからの見え方に配慮しましょ。



- ランドマークとなるまちかどの建物は、まちかど広場と合わせて、地域の特性に配慮したデザインの建物としましょ。
- 大門通りや不動通りでは、参道としての特徴をいかし、歴史の感じられるデザインを取り入れましょ。

#### ■ 建物の色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょ。
- 平塚八幡宮の杜や街路樹の緑との調和に配慮した色彩にしましょ。
- 伝統色は地域性に根ざしたものであり、自然や周囲の環境とよく調和します。大門通りや不動通りでは、これらを積極的に活用し、風格と落ち着きをもたせましょ。

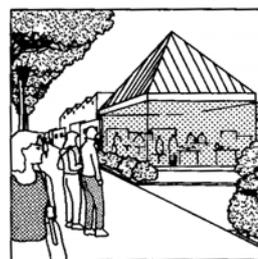
## その他

#### ■ 広告物・サイン

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょ。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょ。
- 広告物のデザインは、平塚八幡宮の森の緑との調和に配慮しましょ。特に色彩は原色や突出色を避け、まちなみや建物と講和した落ちついたものとしましょ。
- サインは必要な情報の伝達のみでなく、わかりやすさ、適切な配置と内容・美しさ・周辺環境との調和をもった統一と秩序あるものに配慮しましょ。

#### ■ 演出

- 時間帯や季節・場所に合わせて、ライトアップを行うなど、地域の特性を感じさせる魅力的な夜景づくりを行いましょ。
- 都市のシンボル軸では、周辺の環境を考慮して、目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切にしましょ。また、空間的な余裕がある場合は、自然を感じさせる水音の演出なども効果的に活用しましょ。
- まつりやオープンカフェなどを開催し、にぎわいのある景観づくりを行いましょ。
- ショールームを設置したり、製造工程が見学できるようにするなど、地域に開かれた工場空間としてイメージアップに心がけましょ。



- 休業日の工場敷地内のオープンスペースの一部開放等、積極的に市民の憩いの場となる広場を創出しましょ。

## 歴史軸 景観形成のコンセプト

歴史軸は、高麗山への眺めとともに多くの寺社や史跡が点在する、かつての宿場町のあった旧東海道沿いの区域です。自治会や商店会等区域内の住民が主体となり、様々な景観まちづくり活動が展開されています。景観づくりの基本方針は、旧東海道にまつわる歴史の発掘と高麗山への眺望をいかしながら、平塚宿のにぎわいを再生したまちなみの形成を目指します。

### ① 周辺との関わりを考える

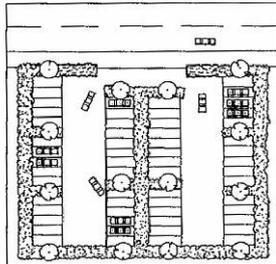
#### 位置・配置

##### ■ 建物

- 周辺の建物と壁面のラインをできるだけ揃え、沿道のリズムを乱さないようにしましょう。
- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。

##### ■ 駐車場

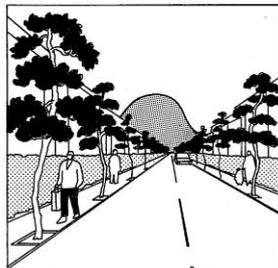
- まちなみやそのにぎわいを分断する駐車場の出入口は、通りに面して設置しないようにしましょう。やむを得ない場合は、出入口を一箇所に集約して出入口の面積を最小限にし、植栽を設けたりデザインを工夫するなどして、にぎわいの連続を確保しましょう。



#### 高さ・規模

##### ■ 建物

- 建築物の高さは、高麗山への見通し線の確保を図るよう、高麗山の視線を妨げない高さに配慮し、屋上設備類の露出や屋上看板の設置がないようにしましょう。



### ② 質を高める

#### 外構・緑化

##### ■ 緑化

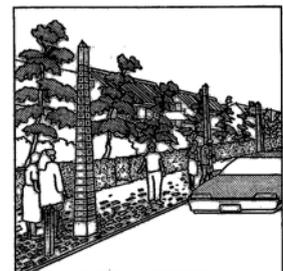
- 通りに面する境界部へ植栽を行う場合、樹種は四季を通じて緑豊かな雰囲気があり、旧東海道の松並木を思わせるような松を中心とする常緑樹を用いるようにしましょう。



- まちかどに設けた空地には、木かげを創出したり、まちかどのめじるしとなるよう、シンボルツリーを設置しましょう。

##### ■ 塀・生け垣・フェンス

- 住宅の周囲は、ブロック塀や金網フェンスの使用を避け、生垣化に努めましょう。
- まちなみの雰囲気にあった瓦屋根付土塀等は積極的に保存・活用しましょう。

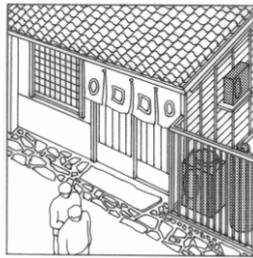


### ③ まちなみを彩る

#### 形態・意匠

##### ■ 建物の形態意匠

- 建物は、旧東海道の歴史や高麗山への眺望に配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょう。
- 建築物は、街道筋や宿場町としての歴史を感じさせるデザインを基調とし、「格子」「のれん」「飛び石」「石垣」など、古来のまちの空間にあった要素をいかして具体的なデザインを展開しましょう。



- 外壁や建具の素材は、歴史的な雰囲気を大切に、竹材や木材などの「和」を感じさせる、年月の積み重ねで風格や味わいを増す素材を使用するよう努めましょう。
- 歴史軸内の建物のデザインは、一階部分の軒高や見切り線をそろえるなど、通りからの見え方に配慮しましょう。
- 東海道本通りに面する建物のデザインは、屋上設備類の露出や屋上看板等の設置が難しい屋根形状（傾斜屋根等）とし、地域の歴史や高麗山への眺望に配慮しましょう。
- ランドマークとなるまちかどの建物は、まちかど広場と合わせて、地域の特性に配慮したデザインの建物としましょう。
- アーケードは設置しないようにしましょう。

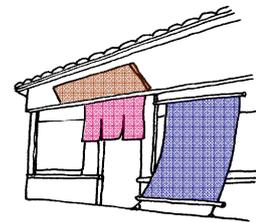
##### ■ 建物の色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。
- 伝統色は地域性に根ざしたものであり、自然や周囲の環境とよく調和します。これらを積極的に活用し、風格と落ち着きをもたせましょう。

#### その他

##### ■ 広告物・サイン

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょう。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょう。
- 広告物のデザインは、旧東海道の歴史や高麗山への眺望との調和に配慮しましょう。特に色彩は、原色や突出色を避け、まちなみや建物と講和した落ち着いたものとしましょう。
- 広告物は、石、木、鋳物、布などの和の素材を積極的に使用しましょう。



- サインは、必要な情報の伝達のみでなく、わかりやすさ、適切な配置と内容・美しさ・周辺環境との調和をもった統一と秩序あるものに配慮しましょう。
- 旧街道筋の歴史的な資源へのアクセスルートの案内や説明のため、周辺環境に調和したわかりやすく集約されたサインを計画的に配置しましょう。

##### ■ 演出

- 時間帯や季節・場所に合わせて、ライトアップを行うなど、地域の特性を感じさせる魅力的な夜景づくりを行いましょう。



右写真：湘南邸園文化祭での崇善公民館のライトアップ

- 歴史軸では、周辺の環境を考慮して、目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切にしましょう。また、空間的な余裕がある場合は、自然を感じさせる水音の演出なども効果的に活用しましょう。
- 旧東海道の歴史にちなんだ、まつりやイベントを開催し、個性ある景観づくりを行いましょう。